

第7回  
上田市公共交通活性化協議会

資 料

平成 23 年 2 月 1 日  
上田市公共交通活性化協議会

## 目次

1. 地域公共交通活性化・再生総合事業計画の実施状況	1
2. 各事業の概要と実施状況	2
2-1. 上田市街地循環バス実証運行事業	2
2-1-1. 事業概要	2
2-1-2. 実証運行の評価	3
2-1-3. 実証運行で見えた課題と対応方針	8
2-1-4. 見直し案の検討	9
2-1-5. 今後のスケジュール	10
2-2. 丸子地域循環バス実証運行事業	11
2-2-1. 事業概要	11
2-2-2. 見直しの経緯	12
2-2-3. 実証運行の評価	14
2-2-4. 今後のスケジュール	18
2-3. 循環バス共通回数券事業	19
2-3-1. 事業概要	19
2-3-2. 事後評価	19
2-4. 傍陽線本原地区迂回実証運行事業	20
2-4-1. 事業概要	20
2-4-2. 実証運行の評価	21
2-5. 乗り継ぎ情報提供表示板の作成事業	23
2-5-1. 事業概要	23
2-5-2. 事後評価	23
2-6. バスマップの作成事業	24
2-6-1. 事業概要	24
2-6-2. 事後評価	24
2-7. 上田電鉄別所線車両のラッピング事業	25
2-7-1. 事業概要	25
2-7-2. 事後評価	25
2-8. タクシー事業の活性化及びタクシーを活用した観光に資する事業	27
2-8-1. 事業概要	27
2-8-2. 事後評価	27
3. その他事業	28
3-1. オレンジバス見直し事業	28
3-1-1. 事業概要	28
4. 今後の事業予定	30
5. 「地域公共交通確保維持改善事業～生活交通サバイバル戦略～」の有効活用	30



## 2. 各事業の概要と実施状況

### 2-1. 上田市街地循環バス実証運行事業

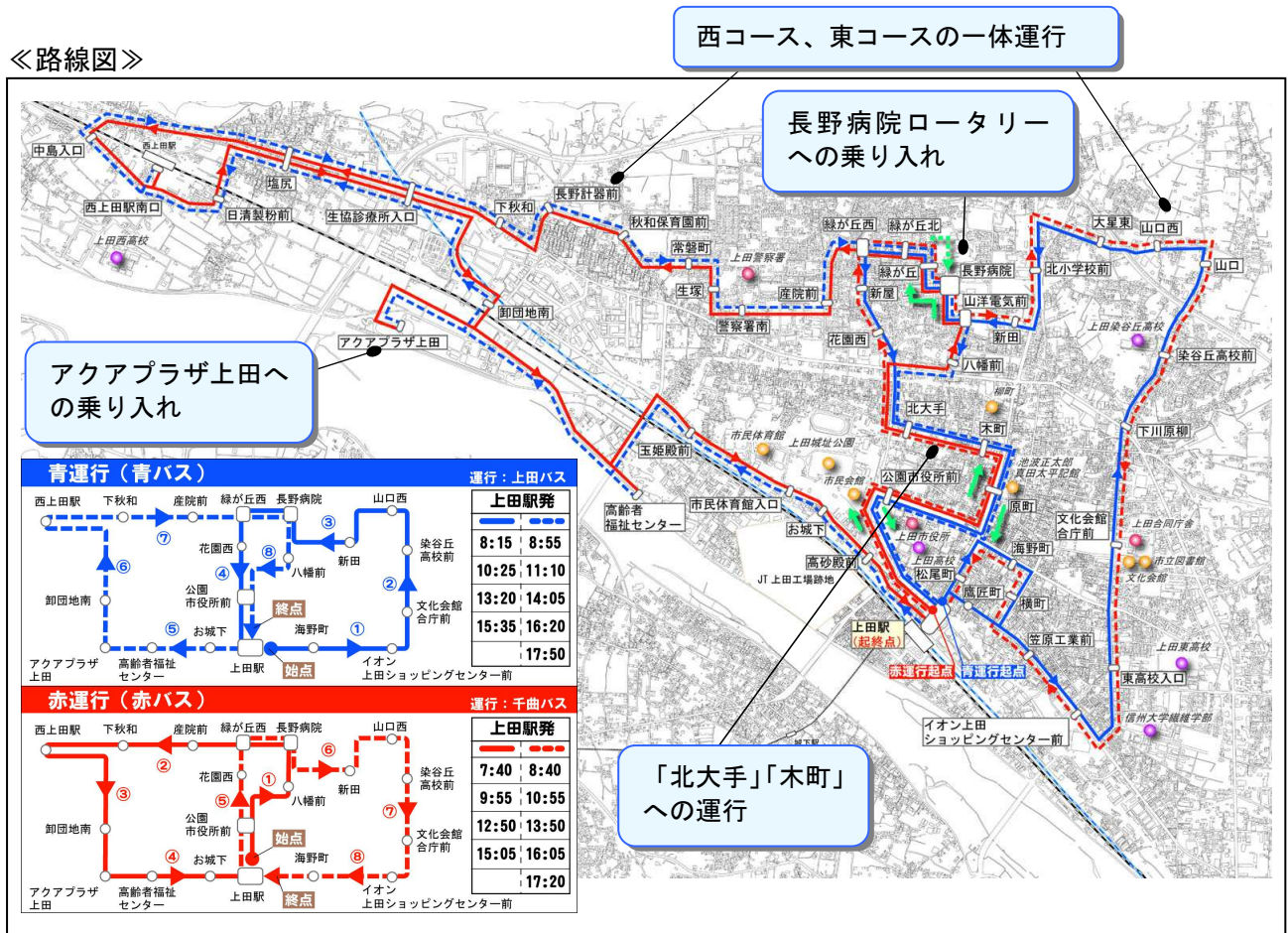
#### 2-1-1. 事業概要

事業名	上田市街地循環バス実証運行		実証運行開始日	H20年10月20日	
運行形態	定時定路線の循環型	運行本数	9便	運休日	休日、年末年始

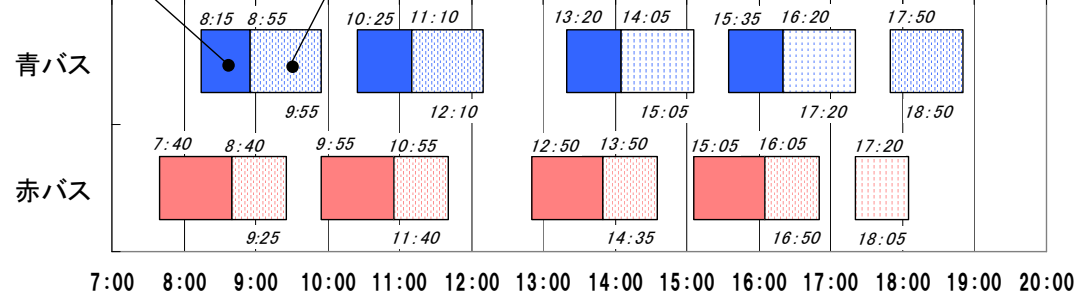
**概要**

上田市街地循環バスは従来、東コース、西コースの2コースで運行していた。東コースは1方向の循環型、西コースは往復型の定時定路線であった。上田市では上田駅西側の「JT跡地の再開発」が予定されており、そこへのアクセスが当循環バスの課題としてあった。そこで、JT跡地整備後を見越し、東コースと西コースを一体（直通）運行とし、双方向の循環型に統一した新たな路線として、実証運行を行うこととした。

実証運行するに当たり、より循環バスに親しみを覚えてもらうために、青バス・赤バスの愛称を付与し、平成20年10月20日から実証運行を開始した。



### 「運行時間」



## 2-1-2. 実証運行の評価

### 《利用者数》

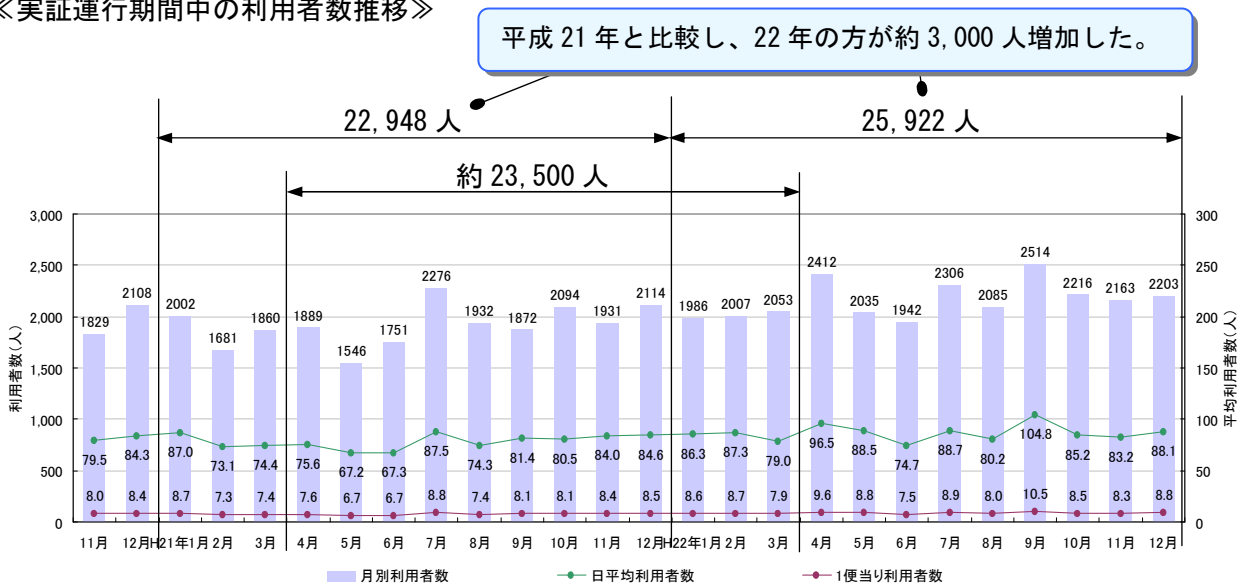
- 21年度年間利用者数約23,500人であり最終目標値30,000人にはまだ届かない。また、旧運行時の年間利用者数は約27,000人と旧運行時の水準には至ってはいない。
- しかし、22年1月～12月の1年間で25,922人（前年同時期+2,974人）であり、利用者数は増加傾向である。

### 《満足度》

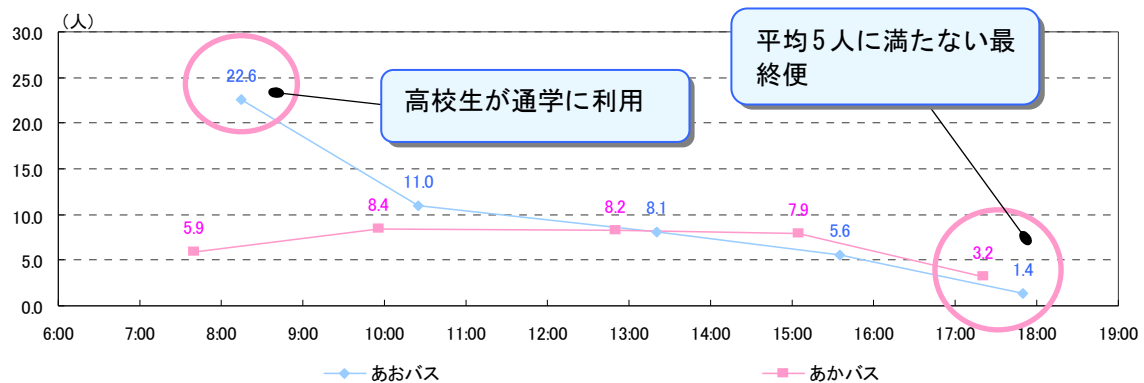
- 実証運行開始年度（平成20年度）は約40%、21年度は約40%、22年度は約50%と向上を見せている。

年間利用者数	平成19年度	①平成21年度	②最終目標値	増減（①-②）
		約27,000人	約23,500人	30,000人
期間利用者数	21年1月～12月		22年同時期	増減
	22,948人		25,922人	+2,974人
満足度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
	40%	40%	50%	

### 《実証運行期間中の利用者数推移》



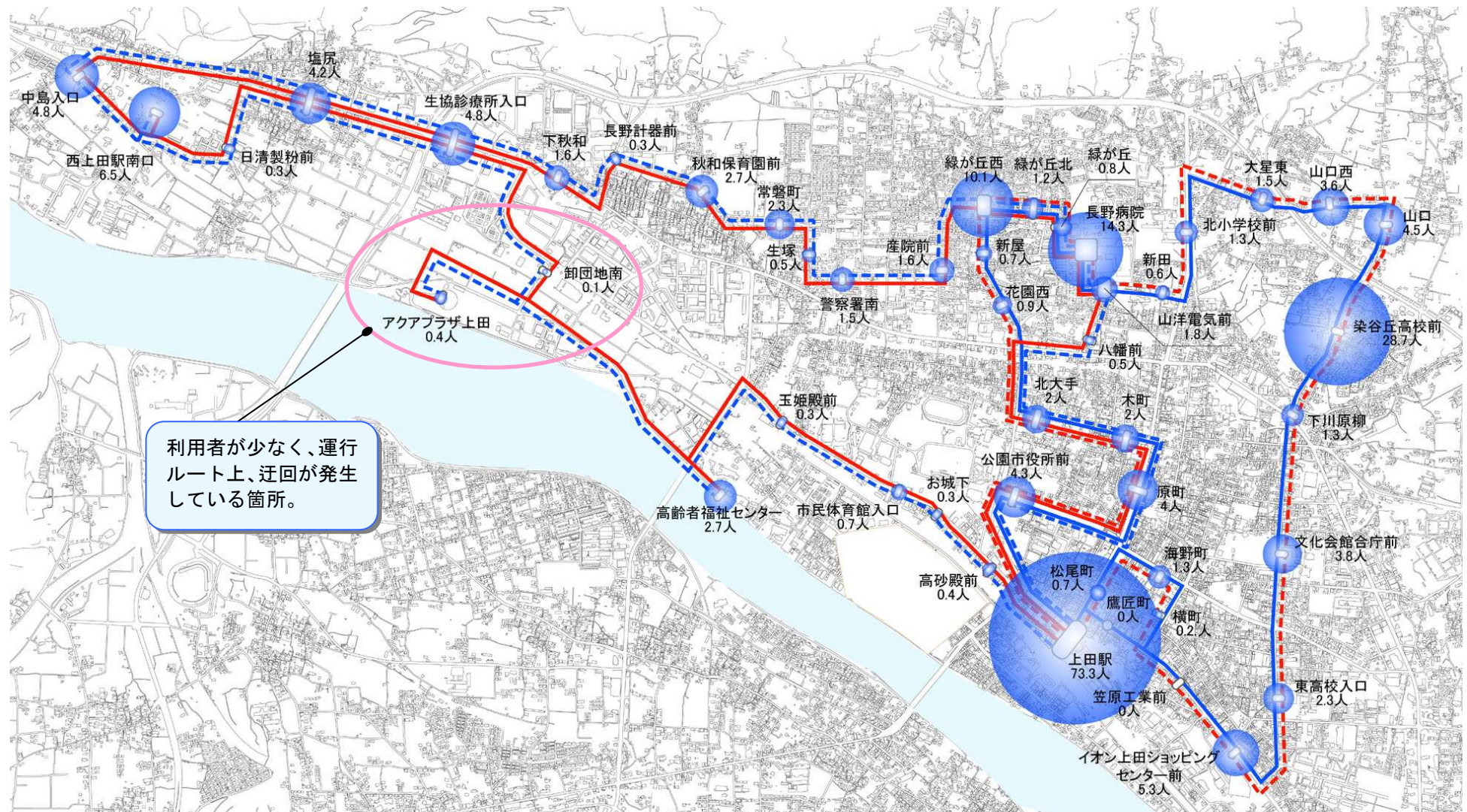
### 《便別利用者数》



※ 交通事業者による利用者数調査より



《バス停利用者数調査結果（日平均利用者数）》

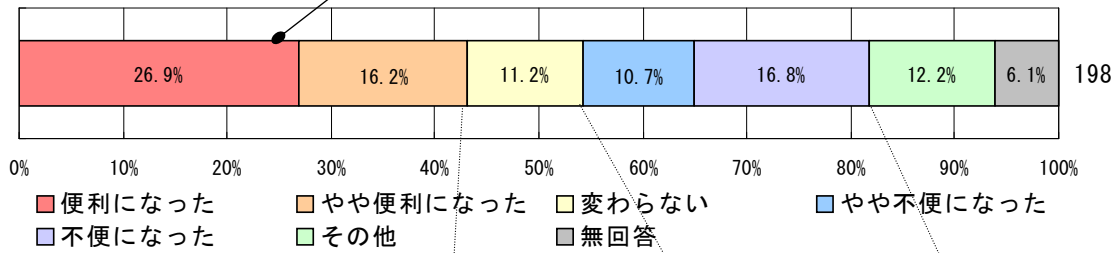


※ バス利用実態調査結果

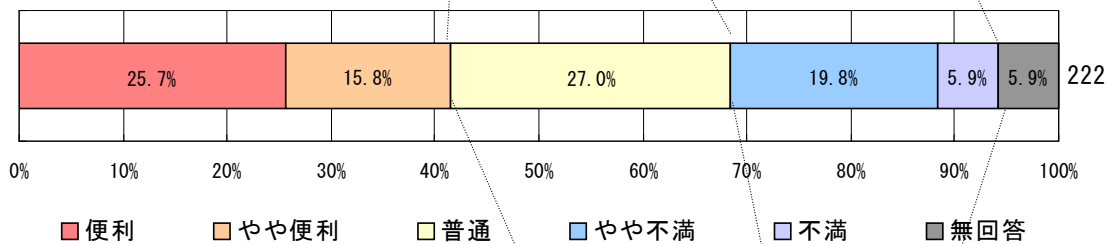
《利用者ヒアリング結果》

(1) 利用者の満足度

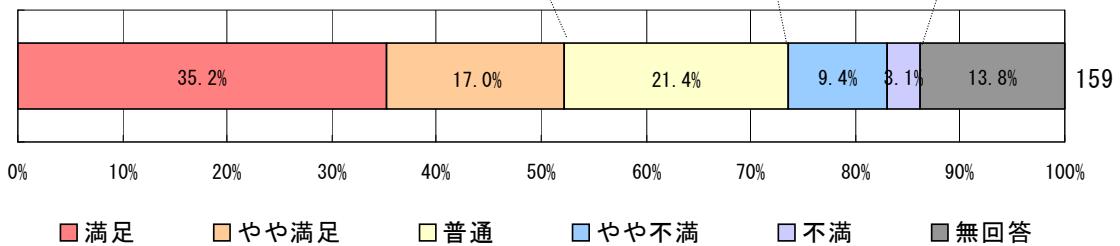
◆平成 20 年度調査結果



◆平成 21 年度調査結果



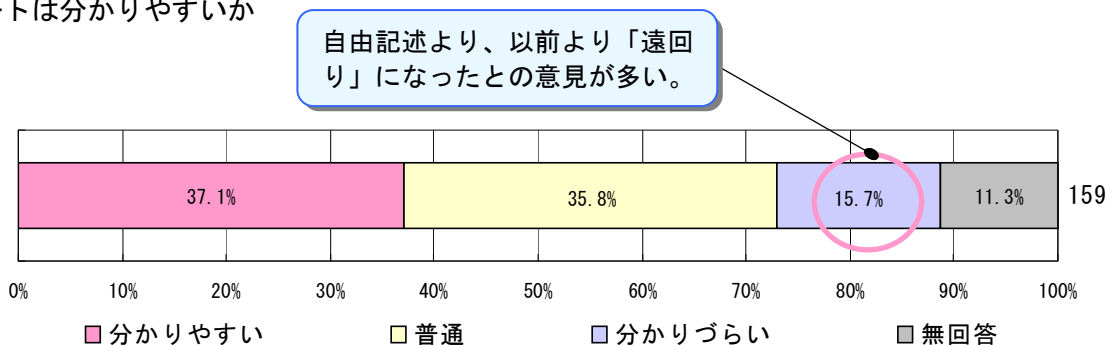
◆平成 22 年度調査結果



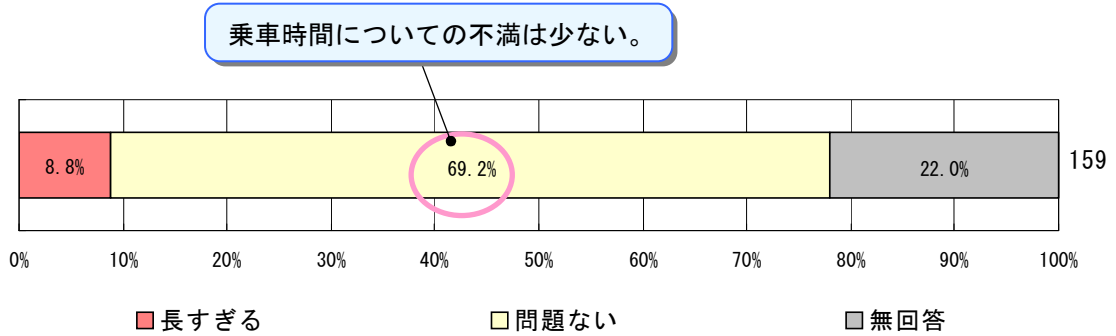
(2) 利用者からの意見や要望

- 利用者ヒアリング結果から、主に「運行ルート」「通院や買い物とダイヤの整合」「バス乗降時の段差」についての不満が強い傾向である。
- 利用者の自由意見から、「運行本数が少ない」「青バス、赤バスに変更したことへの抵抗感」「利用が少ないバス停を回りすぎる」が主に聞かれた。

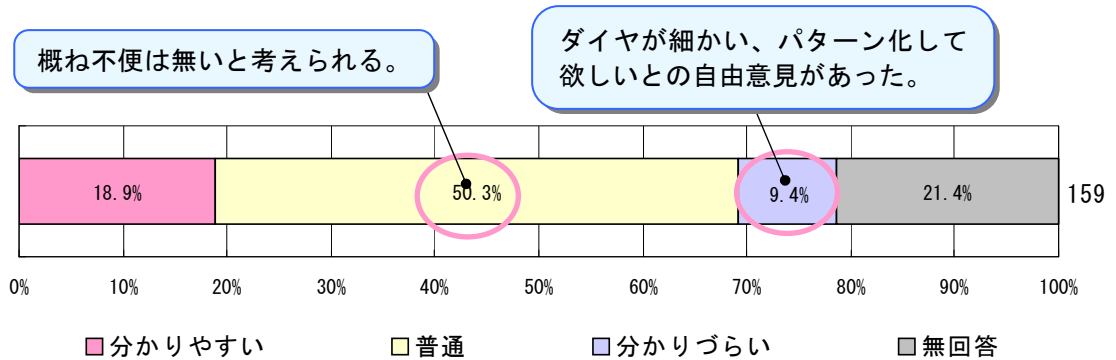
◆運行ルートは分かりやすいか



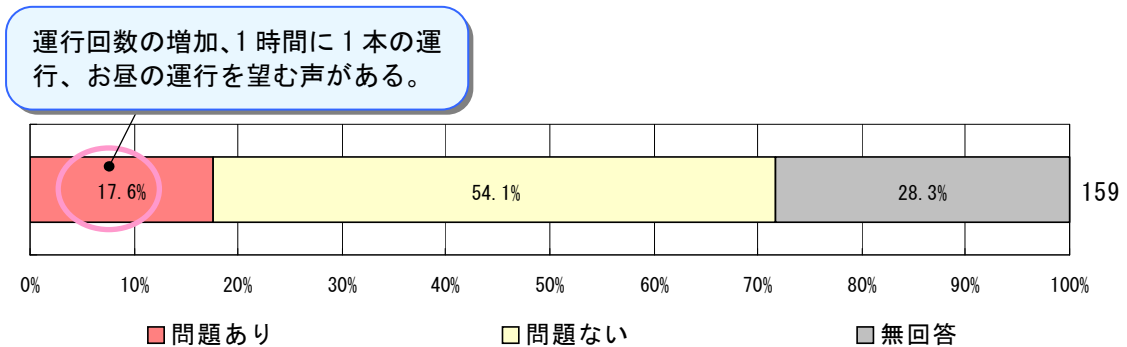
◆乗車時間は長すぎないか



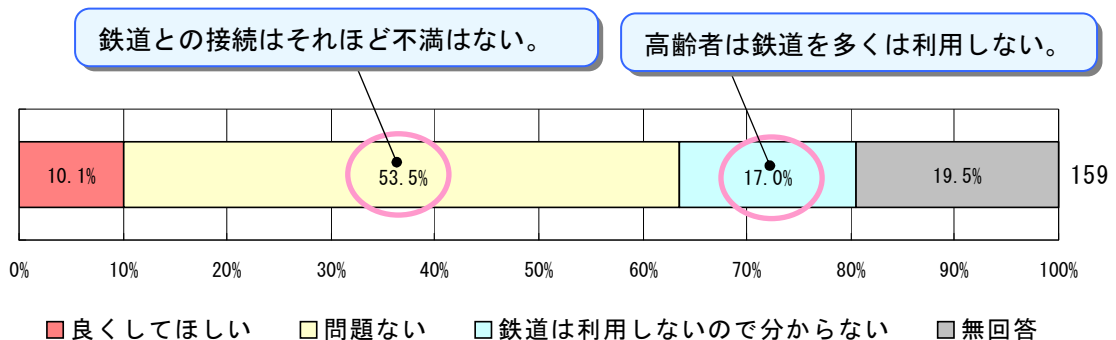
◆運行ダイヤは分かりやすいか



◆通院・買い物・通学と時刻は合っているか

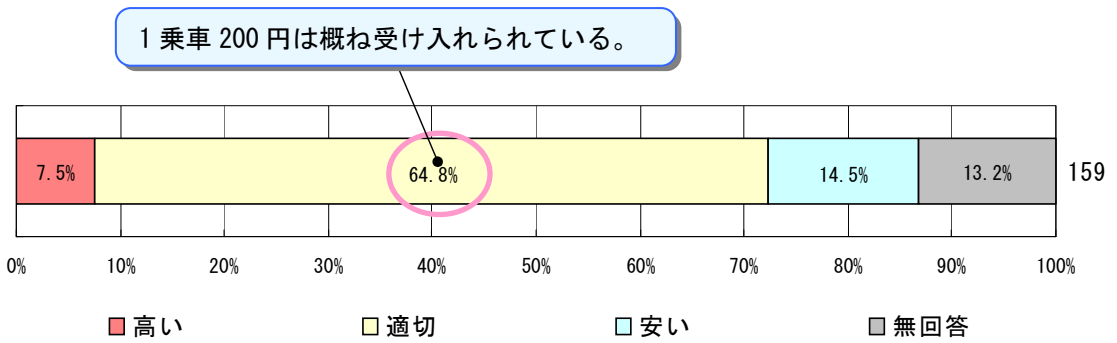


◆電車との接続は良いか

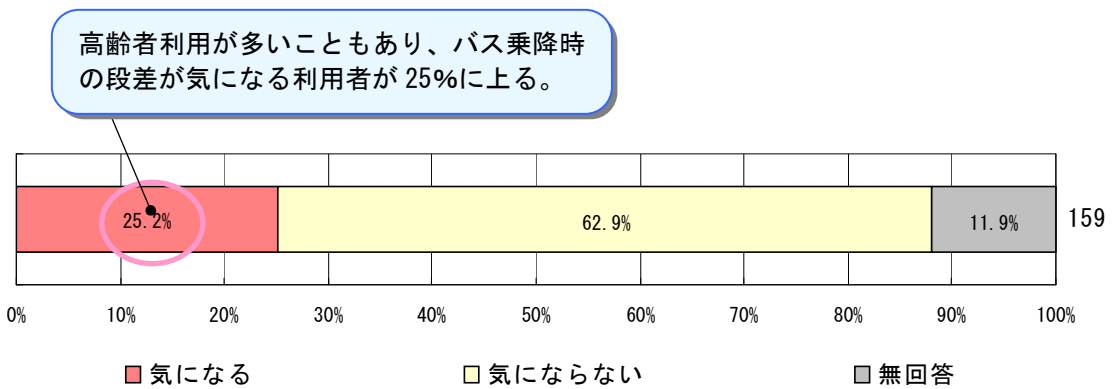




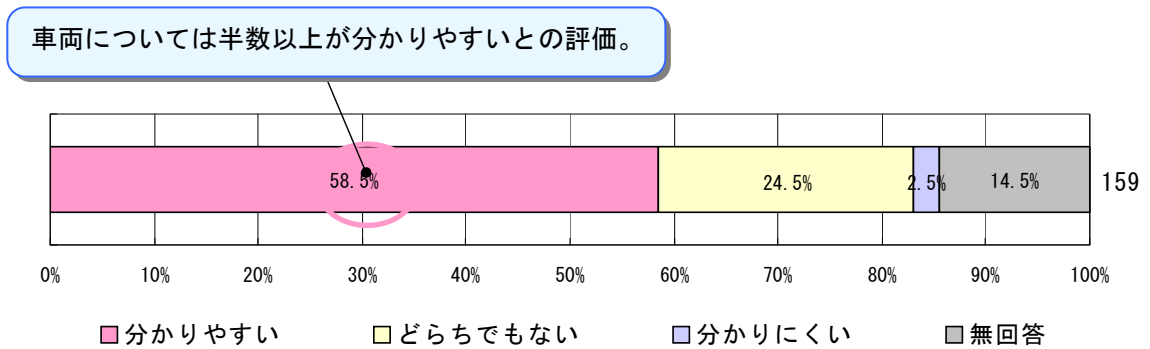
◆運賃は妥当か



◆乗降時の車両の段差は気になるか



◆循環バスの車両は分かりやすいか



※ (2) のグラフは平成 22 年度利用者ヒアリング調査結果より

### 2-1-3. 実証運行で見た課題と対応方針

#### 《ルートについて》

課題・問題点	対応方針
①「アクアプラザ上田バス停」「卸団地南バス停」の利用者数が少なく、迂回する意義が低い。また、利用者からも改善の声がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「アクアプラザ上田バス停」は運行中止とする。</li> <li>・「生協診療所前バス停」～「高齢者福祉センターバス停」間のルートを変更する。</li> </ul>
②旧運行時と比較し停車回数が減少した「松尾町バス停」への停車回数確保。(利用者からの要望)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「原町バス停」から「公園市役所前バス停」間に「(仮) 商工会議所前バス停」を設け、松尾町利用者の利便性を高める。</li> </ul>
③来春、大型商業施設が上田駅前から撤退し、JT跡地に新店舗がオープンすることを受けてのルート変更。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JT跡地を利用するルートに変更する。</li> </ul>

#### 《ダイヤについて》

課題・問題点	改善策の提案
①運行本数が少ないと感じている利用者が多い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状の車両運用の変更は予定に無く、運行本数は現状を維持する。</li> <li>・運行本数に不便を感じている理由として、双方向運行に対する利用者への浸透不足も一因と考えられるため、ルート図・時刻表の工夫を考える。</li> <li>・なるべく、上田駅発時間を5分や10分単位等わかりやすい時間で揃えるなど、覚えやすいダイヤとする。</li> </ul>

#### 《車両について》

課題・問題点	改善策の提案
①「ステップが欲しい」との意見がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車両については、財源の捻出、交通事業者との協議など諸事情の調整が必要となるため、当面は現状の車両を用いて、今後の課題とする。</li> </ul>



上記課題を受けて、見直し案の検討を行う。

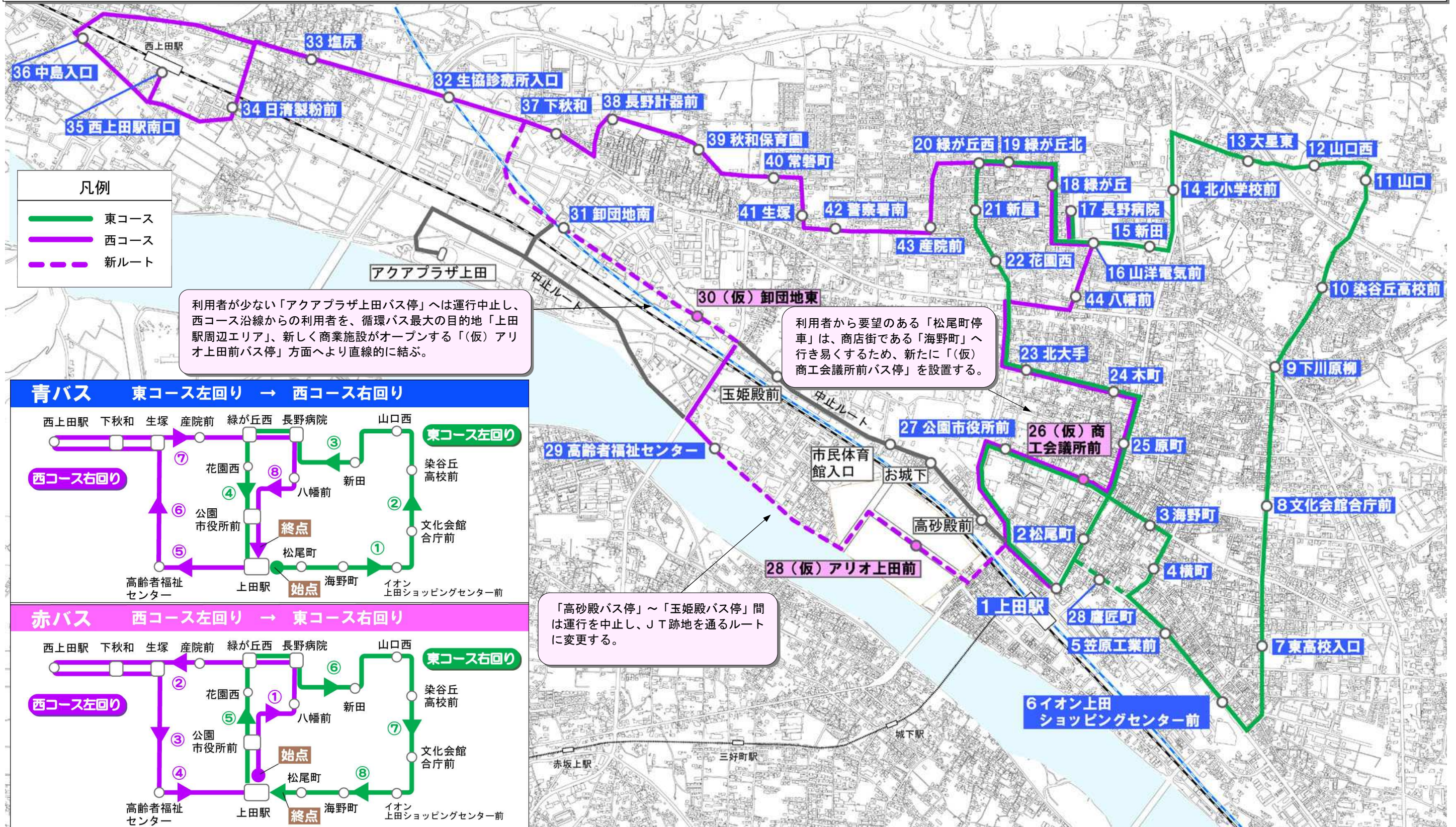


2-1-4. 見直し案の検討

(1) 運行ルートの見直し案

《見直しの考え方》

- 「アクアプラザ上田バス停」への運行を中止し、「(仮)卸団地東バス停」を設置する。
- 「高砂殿前バス停」～「玉姫殿前バス停」間は運行中止とし、JT跡地に新たに出来る商業施設前に「(仮)アリオ上田前バス停」を設け、運行ルートを変更する。
- 利用者から要望のある松尾町へのアクセス改善、商店街である海野町へのアクセス向上を目的に「(仮)商工会議所前バス停」を新設する。
- 路線図は従来の「赤バス」「青バス」表記に加え、「東コース」「西コース」を併記して、より分かりやすい「路線図」とする。





(2) 運行時刻の見直し案

《見直しの考え方》

- 始発バス停を可能な限り00分、10分など5分単位での発時間、また等間隔のダイヤに努め、利用者が分かりやすく覚えやすい時刻とする。
- 染谷丘高校への通学時間は最優先事項とし、日中は商業施設利用時間を考慮しながら、分かりやすいダイヤとする。
- 従来の「あかバス」「あおバス」表記に加え、「東コース」「西コース」を併記することにより、「どこを走るバスなのか」を明確化させた「時刻表」とする。

青バス（上田バス 運行）						
バス停No.	バス停/便名	1便	2便	3便	4便	5便
1	上田駅	8:15	10:30	13:30	15:30	
28	鷹匠町					
2	松尾町					
3	海野町					
4	横町					
5	笠原工業前					
6	イオン上田前					
7	東高校入口					
8	化会 合 前					
9	原					
10	染谷丘高校前					
11	口					
12	口西					
13	大 東					
14	北 学校前					
15	新田					
16	電気前					
17	長野病院	8:36	10:56	13:56	15:56	
18	が丘					
19	が丘北					
20	が丘西					
21	新					
22	園西					
23	北大手					
24	木町					
25	原町					
26	(仮) 商工会議所前					
27	公園市役所前					
1	上田駅	8:55	11:15	14:15	16:15	
東コースから西コースへ直通						
バス停No.	バス停/便名	1便	2便	3便	4便	5便
1	上田駅	8:55	11:15	14:15	16:15	17:35
28	(仮) アリオ上田前					
29	高齢者福祉センター					
30	(仮) 卸団地東					
31	卸団地南					
32	生協診療所入口					
33						
34	日 前					
35	西上田駅南口	9:17	11:37	14:37	16:37	17:57
36	中 入口					
33						
32	生協診療所入口					
37						
38	長野計 前					
39	保 園前					
40	町					
41	生					
42	南					
43	院前					
19	が丘北					
18	が丘					
17	長野病院	9:39	11:59	14:59	16:59	18:19
16	電気前					
44	前					
23	北大手					
24	木町					
25	原町					
26	(仮) 商工会議所前					
27	公園市役所前					
1	上田駅	9:55	12:15	15:15	17:15	18:35

赤バス（バス 運行）						
バス停No.	バス停/便名	1便	2便	3便	4便	5便
1	上田駅	7:40	10:00	13:00	15:00	
27	公園市役所前					
26	(仮) 商工会議所前					
25	原町					
24	木町					
23	北大手					
44	前					
16	電気前					
17	長野病院	7:50	10:10	13:10	15:10	
18	が丘					
19	が丘北					
20	が丘西					
43	院前					
42	西					
41	生					
40	町					
39	保 園前					
38	長野計 前					
37						
32	生協診療所入口					
33						
36	中 入口					
35	西上田駅南口	8:10	10:30	13:30	15:30	
34	日 前					
33						
32	生協診療所入口					
31	卸団地南					
30	(仮) 卸団地東					
29	高齢者福祉センター					
28	(仮) アリオ上田前					
1	上田駅	8:40	11:00	14:00	16:00	
西コースから東コースへ直通						
バス停No.	バス停/便名	1便	2便	3便	4便	5便
1	上田駅	8:40	11:00	14:00	16:00	17:00
27	公園市役所前					
26	(仮) 商工会議所前					
25	原町					
24	木町					
23	北大手					
22	園西					
21	新					
20	が丘西					
19	が丘北					
18	が丘					
17	長野病院	8:50	11:10	14:10	16:10	17:10
16	電気前					
15	新田					
14	北 学校前					
13	大 東					
12	口西					
11	口					
10	染谷丘高校前					
9	原					
8	化会 合 前					
7	東高校入口					
6	イオン上田前					
5	笠原工業前					
4	横町					
3	海野町					
2	松尾町					
1	上田駅	9:25	11:45	14:45	16:45	17:45

2-1-5. 今後のスケジュール

平成22年度			平成23年度	
1月	2月	3月	4月	5月以降
	★実証運行の継続と見直し準備		★4月中旬以降見直し案での運行	

《評価のまとめ》

平成23年4月以降は、沿線の状況が大きく変わるため、利用者動向の把握に努め、必要があれば見直しを実施することとする。

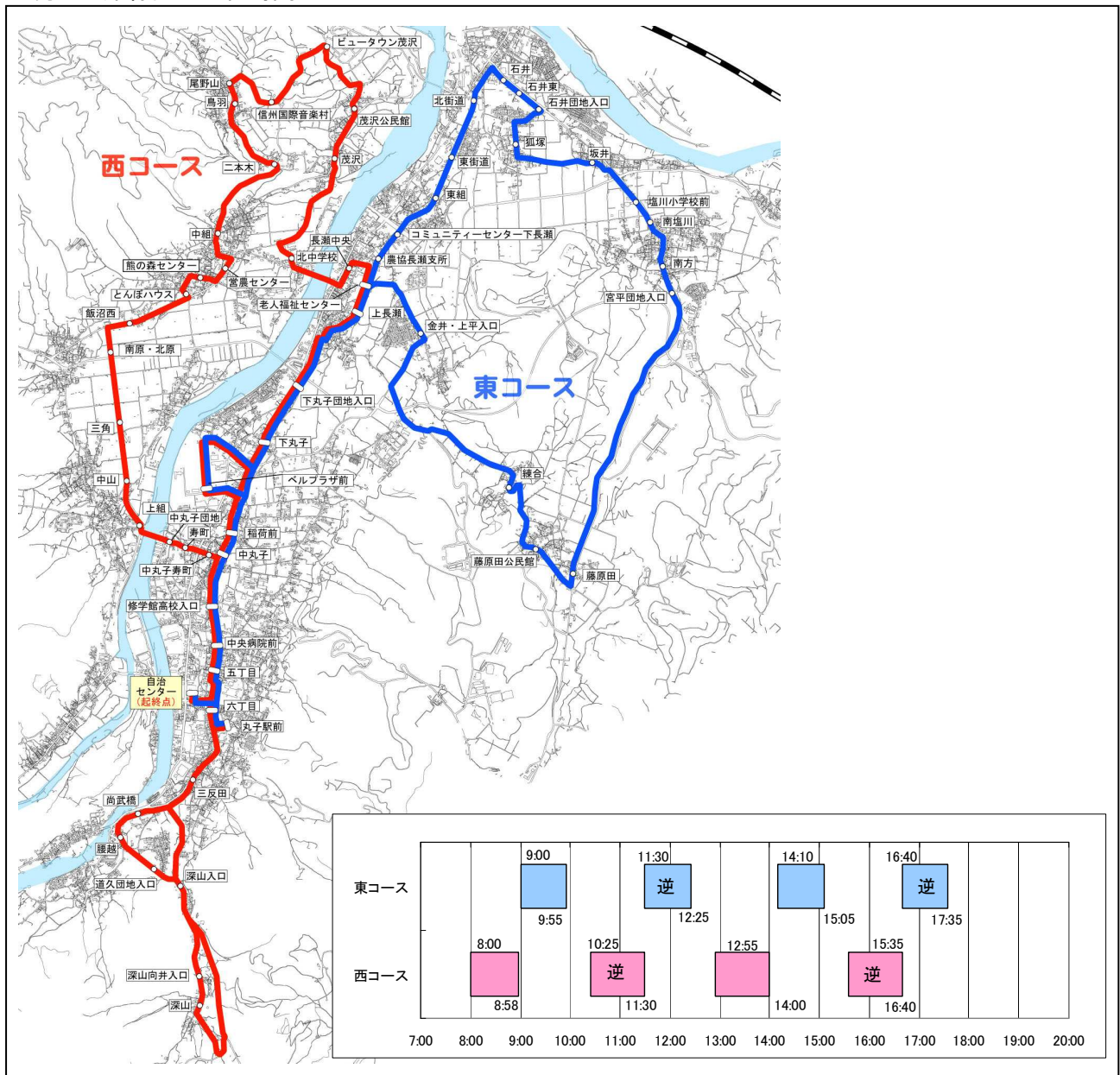


## 2-2. 丸子地域循環バス実証運行事業

### 2-2-1. 事業概要

事業名	丸子地域循環バス実証運行		実証運行開始日	H20年10月20日 H22年1月4日見直し	
運行形態	定時定路線の循環型	運行本数	東 4 便 西 4 便	運休日	休日、年末年始
<p><b>概要</b></p> <p>丸子地域循環バスは当初、丸子地区の路線バスが通ってない地区を一きで結び、1日4便運行していた。周での地区を回るため、運行が長く、乗車時間も1周約90分と長かった。そこで、利用者の乗車時間化を目し、運行ルートを実証運行を東コースと西コースに分し、2コースを1の車両で交互に循環する方とした。</p> <p>上田市街地循環バスと同時に実証運行をスタートさせたが、利用実態から課題が見出されたため、各コース1便の増便(計2便)とルート変更、それにダイヤ変更を行い、平成22年1月4日より新たな体で再スタートさせた。</p>					

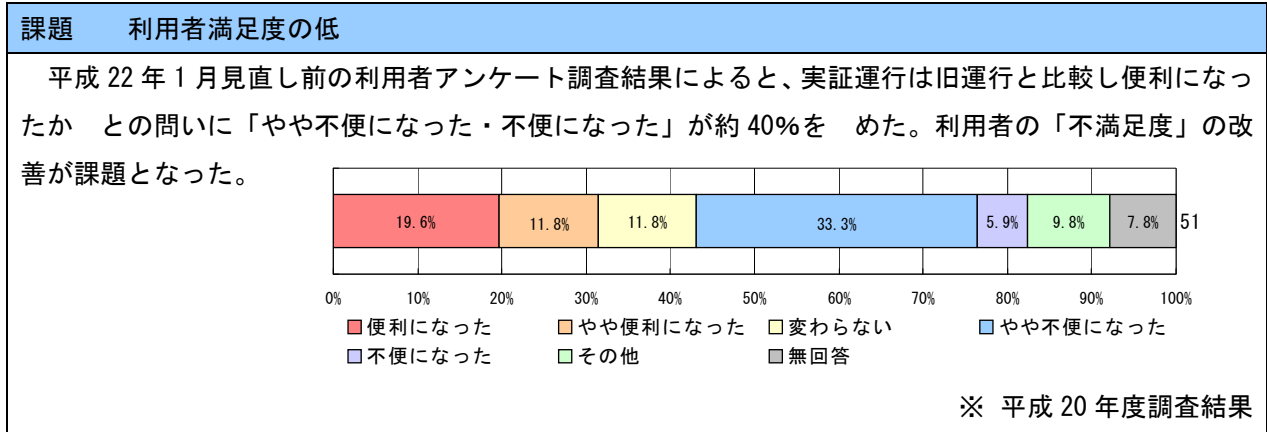
### 《現 の路線図と運行時間》



## 2-2-2. 見直しの経緯

当循環バスは平成 22 年 1 月 4 日に見直しを行い、実証運行の再スタートを行った。ここでは、見直しに至った経緯をまとめる。

### (1) 実証運行しての課題



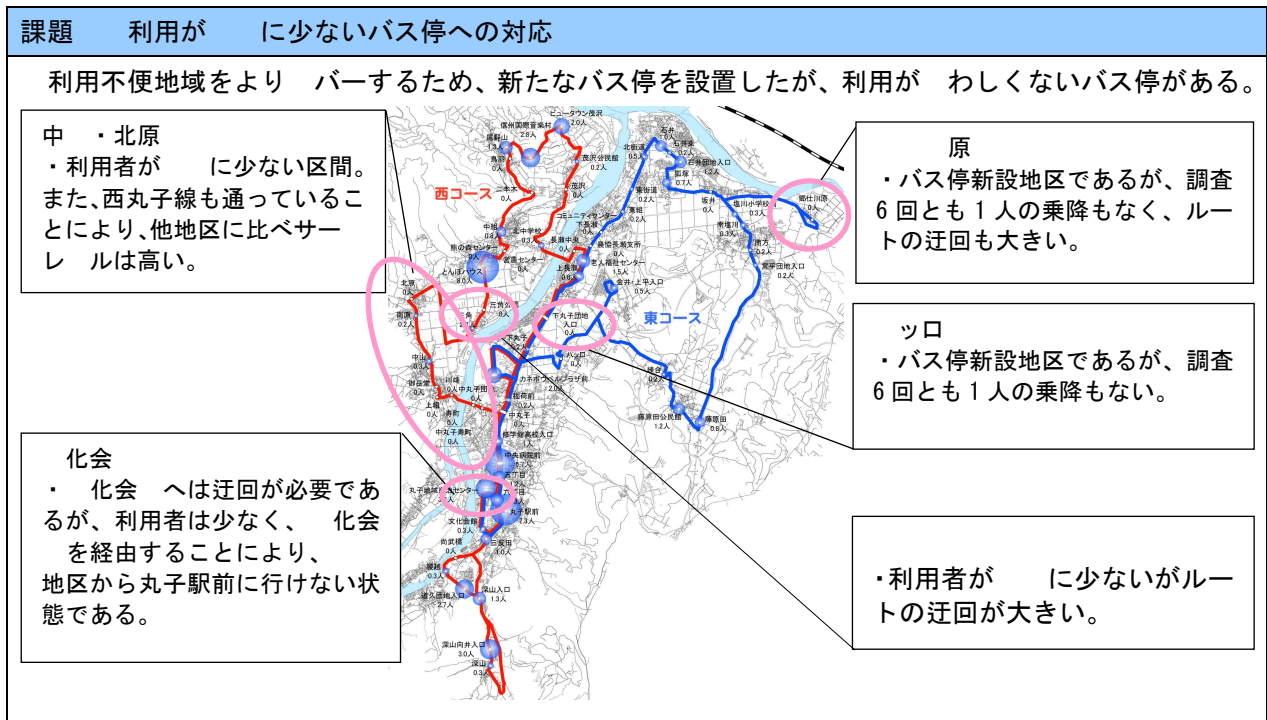
**課題 2 利用者の行動に合ったダイヤの見直し**

東コース、西コースを 1 車両で運行しているため、各コースの運行間隔が開き、に通院の時間 にバスが合わないなど利用者行動とダイヤの不整合が生じた。

① 運行間隔の開きによる利便性低 の

② に東コース沿線における丸子中 病院利用の利便性向上

西コース				東コース					
パターン	通院		午後		パターン	通院		午後	
丸子中央病院着	1便	9:35	2便	12:25	丸子中央病院着	1便	10:53	2便	14:33
滞在時間		(2:02)		(2:50)	滞在時間		(2:43)		(1:54)
丸子中央病院発	2便	11:37	3便	15:15	丸子中央病院発	2便	13:36	3便	16:27

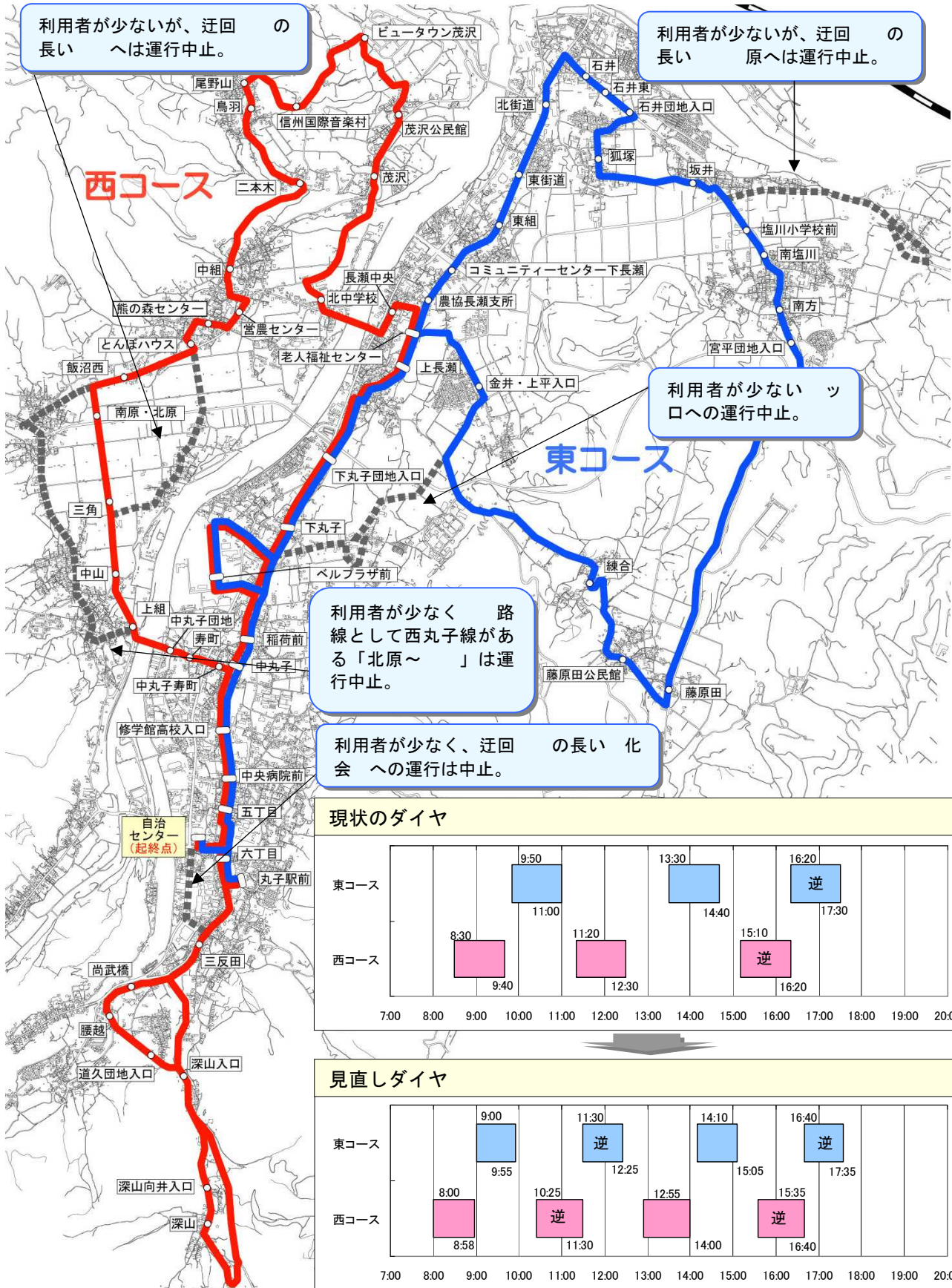




(2) 見直し概要

《見直し方針》

- 利用が少ないバス停、区間を見直し、効率的なルートに再 する。
- 丸子駅での 時間を1時間半 度確保し、 前中・ 後でそれ れ往復できるようダイヤを見直す。



### 2-2-3. 実証運行の評価

#### 《利用者数》

- 21年度年間利用者数約7,300人は最終目標値13,000人にはまだ届かない。また、旧運行時の年間利用者数は約8,900人と旧運行時の水準には至っていない。
- しかし、22年1月～12月の1年間で8,203人であり、見直し前の前年同時期+1,166人であることから、利用者数は増加傾向である。

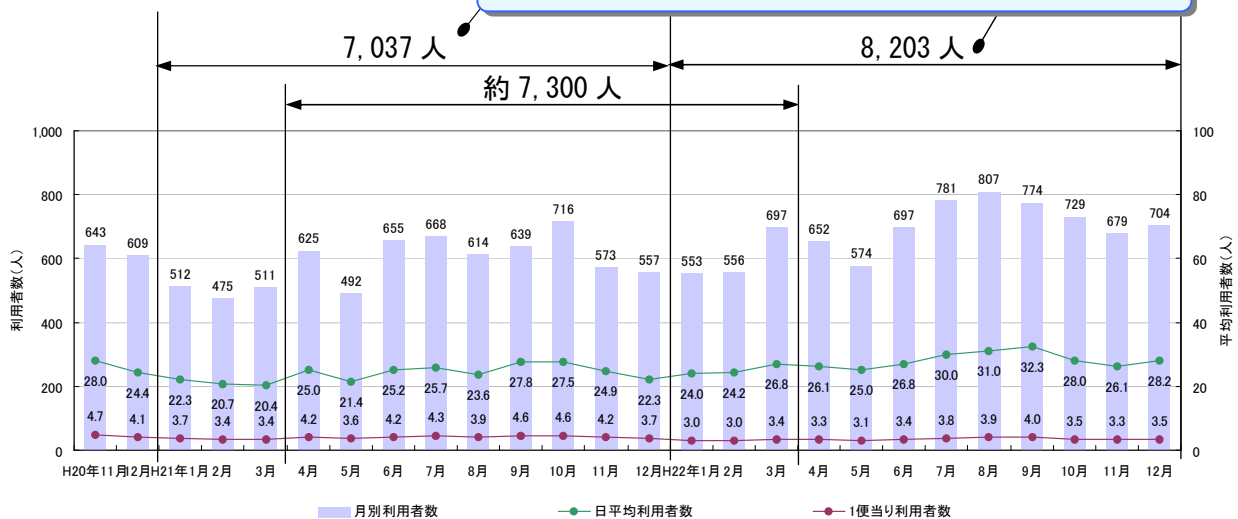
#### 《満足度》

- 実証運行開始年度（平成20年度）は約30%、21年度は約55%、22年度は約60%と向上を見せている。

年間利用者数	平成19年度	①平成21年度	②最終目標値	増減(①-②)
	約8,900人	約7,300人	13,000人	-5,700人
期間利用者数	21年1月～12月	22年同時期	増減	
	7,037人	8,203人	+1,166人	
満足度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
	30%	55%	60%	

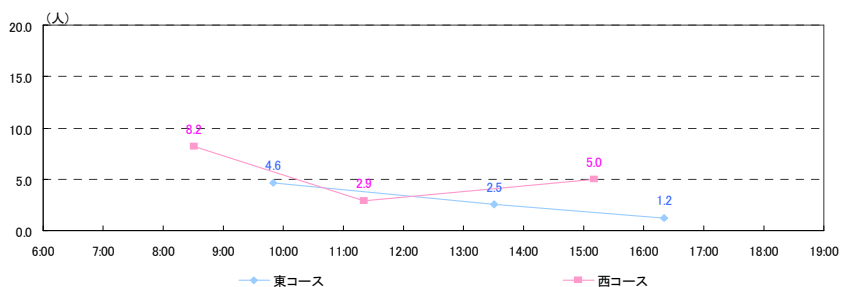
#### 《実証運行期間中の利用者数推移》

平成21年と比較し、22年の方が約1,000人増加した。

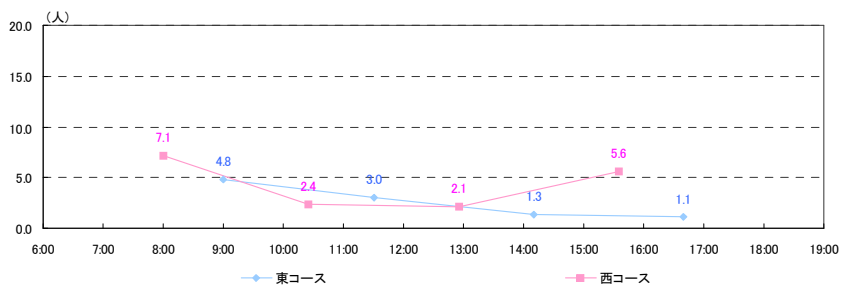


#### 《便別利用者数》

##### ◆見直し前の 一々



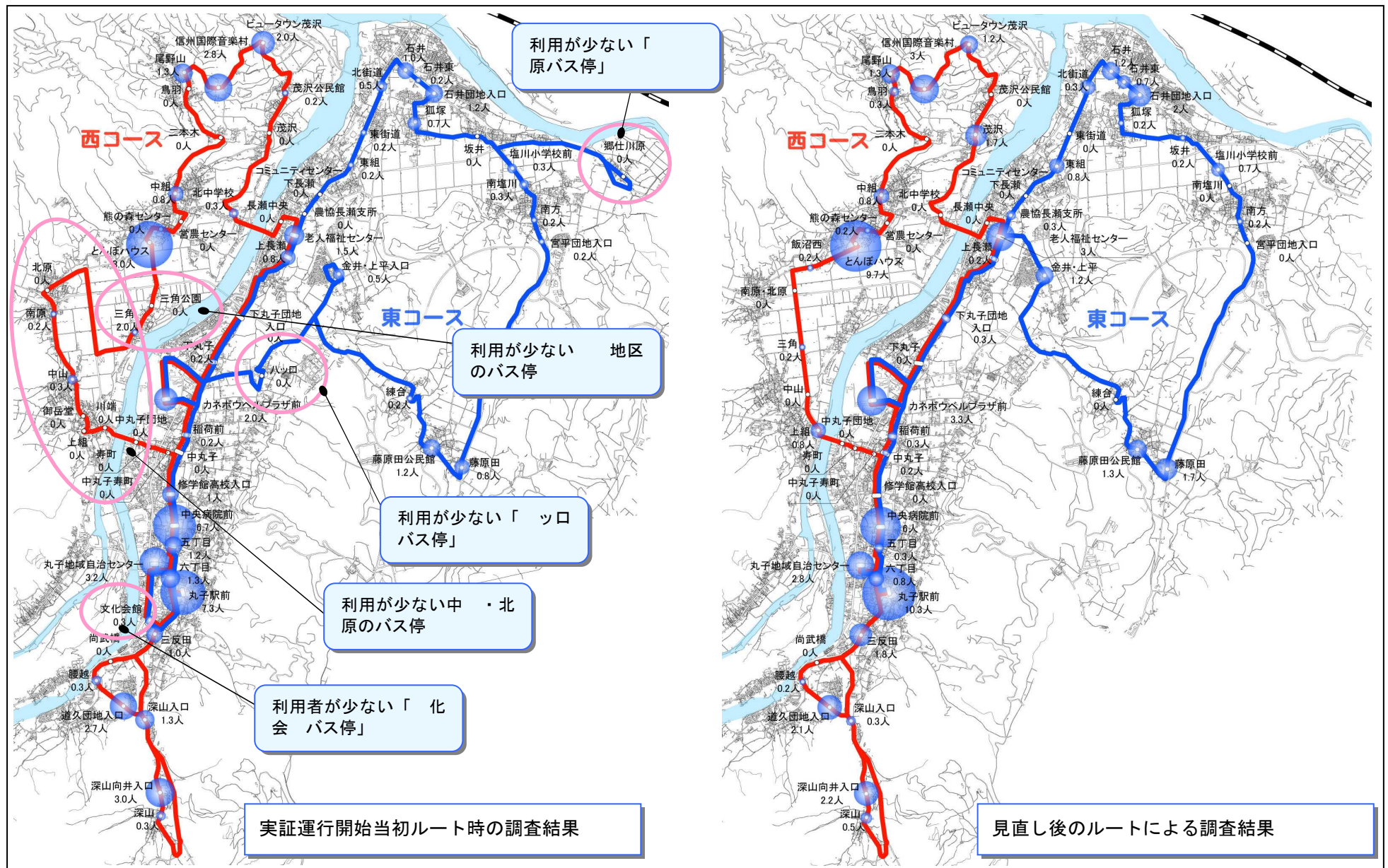
##### ◆見直し後の 一々



※ 交通事業者による利用者数調査より



《バス停利用者数調査結果（日平均利用者数）》

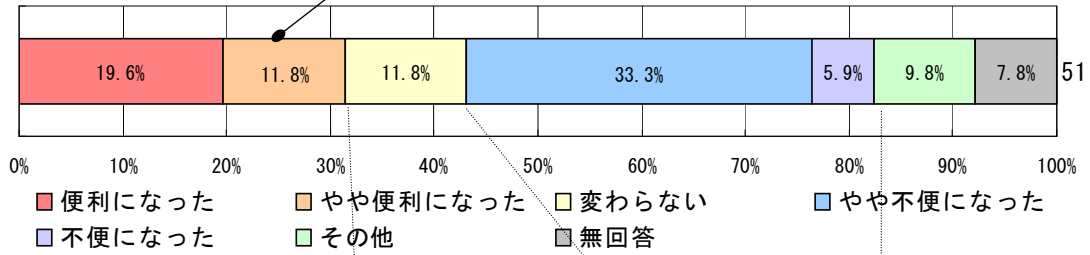


《利用者ヒアリング結果》

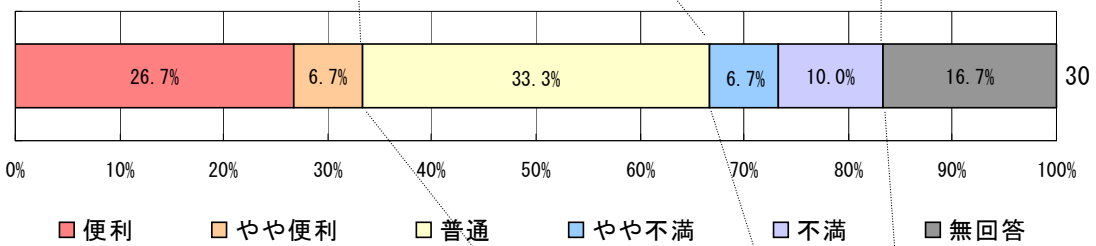
(1) 利用者の満足度

◆平成 20 年度調査結果

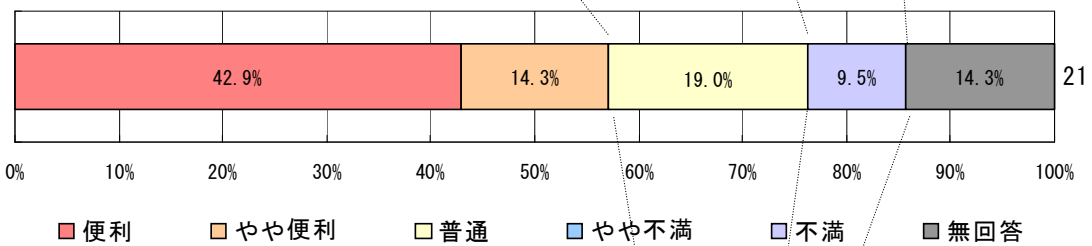
満足傾向を示す回答率が時間の経 とともに、  
向上している。



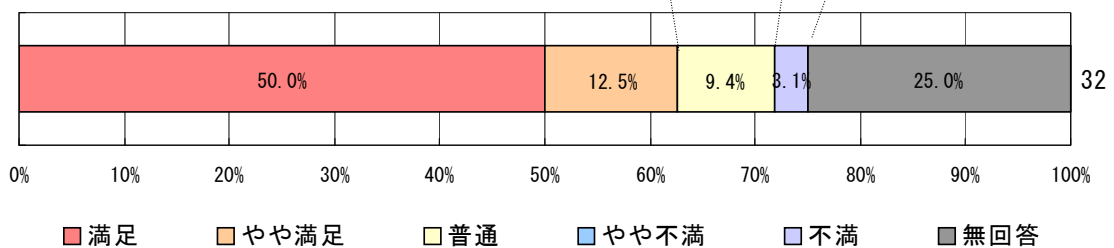
◆平成 21 年度調査結果（見直し前）



◆平成 21 年度調査結果（見直し後）



◆平成 22 年度調査結果

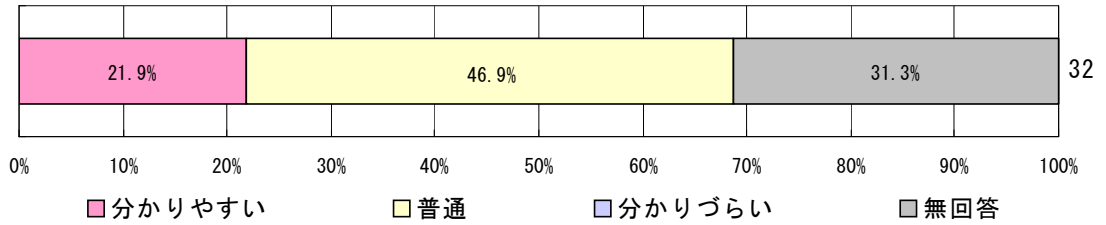


(2) 利用者からの意見や要望

■ 当循環バスに対して、利用者からは概ね 意的に受けとめられている。

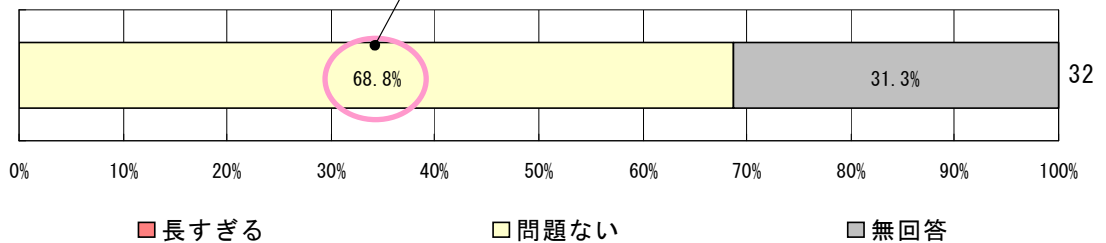
◆運行ルートは分かりやすいか

概ね運行ルートについては不便を感じられていない。



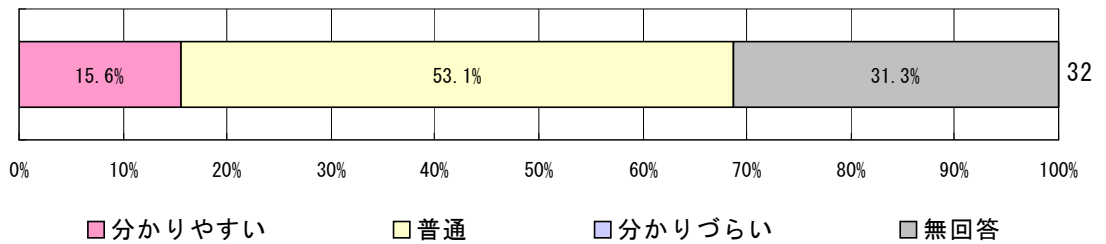
◆乗車時間は長すぎないか

乗車時間についての不満は少ない。



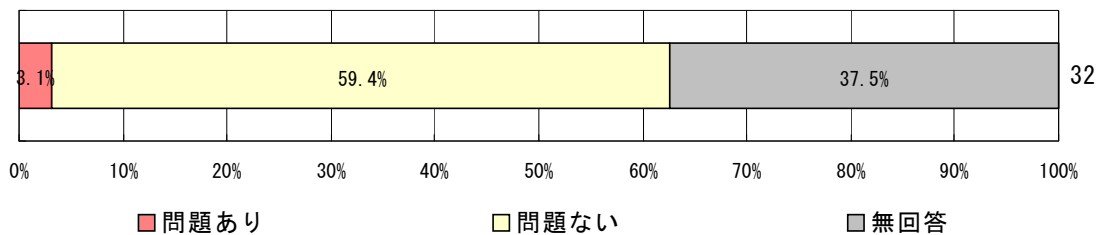
◆運行ダイヤは分かりやすいか

概ね不便は無いと考えられる。

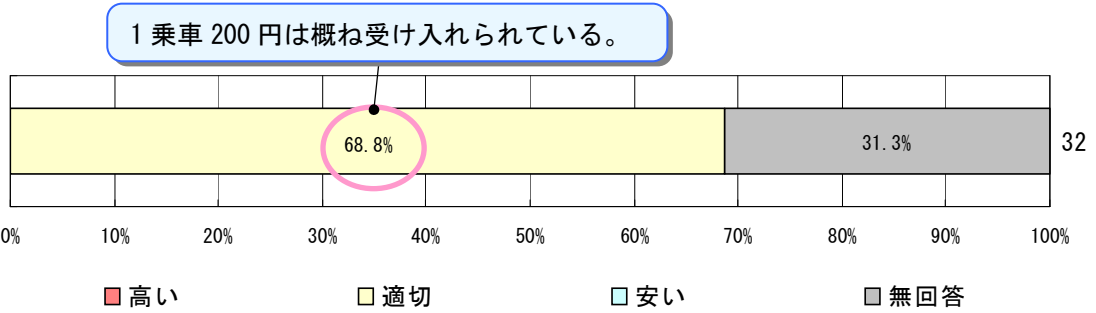


◆通院・買い物・通学と時刻は合っているか

概ね不便は無いと考えられる。

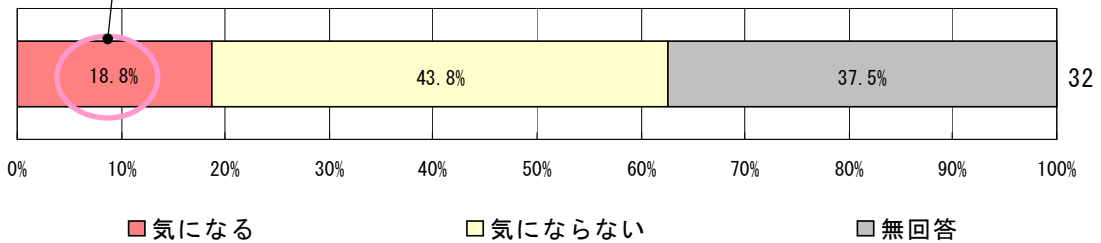


◆運賃は妥当か



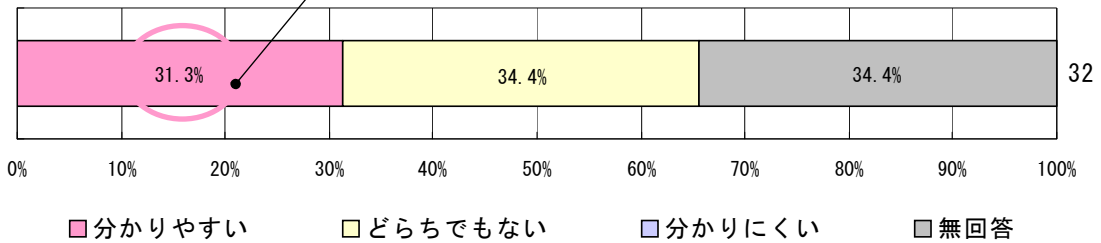
◆乗降時の車両の段差は気になるか

普段はステップ付のバスを用いているが、調査日は諸事情により別車両であったため、「気になる」とした回答者もいると推定できる。



◆循環バスの車両は分かりやすいか

回答者の3割は分かりやすいとの評価。まわりには用バスを用いている。



※ (2) のグラフは平成22年度利用者ヒアリング調査結果より

2-2-4. 今後のスケジュール

平成22年度			平成23年度	
1月	2月	3月	4月	5月以降
	★実証運行の継続と見直し準備		★現状の運行形態で本格運行へ移行	

《評価のまとめ》  
 今後も利用実態の把握に努め、利用者数の維持を目的とし、必要があれば見直ししていく。



## 2-3. 循環バス共通回数券事業

### 2-3-1. 事業概要

事業名	循環バス共通回数券事業	発行年月日	H22年1月4日
発	1 2,000円 (100円券 22 枚)	発行所	上田市街地循環バス車 丸子地域循環バス車 バス 上田 業所 上田バス 上田 業所
<p>概要</p> <p>丸子地域循環バスの運賃は実証運行前から1回200円であり、実証運行による値 変更は行わなかった。また回数券が発行されており、利用者に浸透していた。一方、上田市街地循環バスは100円と200円の対 口 から1回200円の定 へと変更し、 に 利用者から運賃に対する不満が出されていた。また、回数券 のサー スは無かった。そこで、利用 の一環として、 を設けた両循環バス共通の回数券を発行することとした。</p>			

### 2-3-2. 事後評価

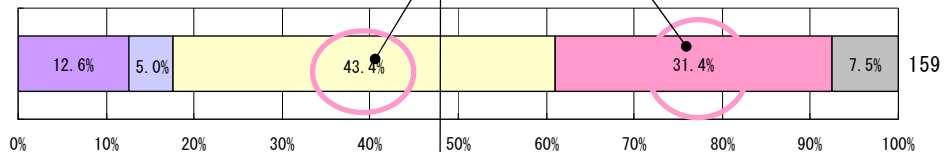
■ 利用者にもっと回数券のことを ってもらふことが必要

#### ◆回数券の利用実態

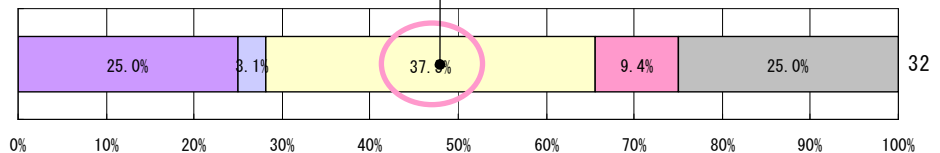
高齢者からは「回数券は無くしてしまふ」との意見もあった。

に市街地循環バスで「ら なかった」との回答が多い。

#### 《上田市街地循環バス》



#### 《丸子地域循環バス》

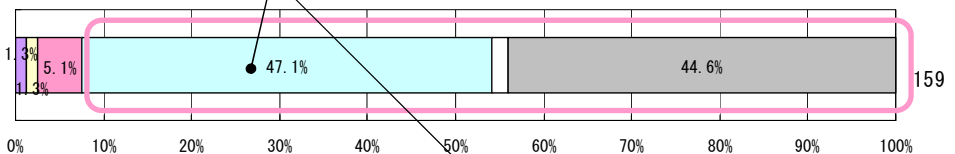


■ っている ■ これから 入する予定 入予定 ■ 入予定なし ■ らなかった ■ 無回答

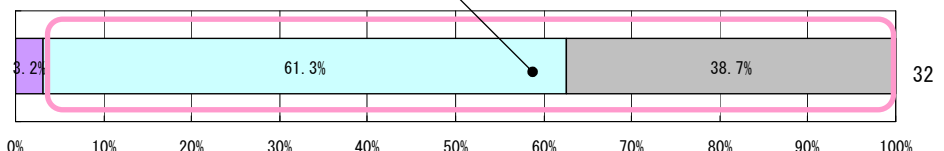
#### ◆回数券事業に対する要望

回数券に対して、 的な意見は出ない状況。

#### 《上田市街地循環バス》



#### 《丸子地域循環バス》



■ 1 当りの設定 を 加してほしい ■ 入できる 所を 加してほしい  
 ■ もっと 率を大きくして欲しい ■ になし  
 ■ その他 ■ 無回答

※ 平成 22 年度利用者ヒアリング調査結果より

#### 《評価のまとめ》

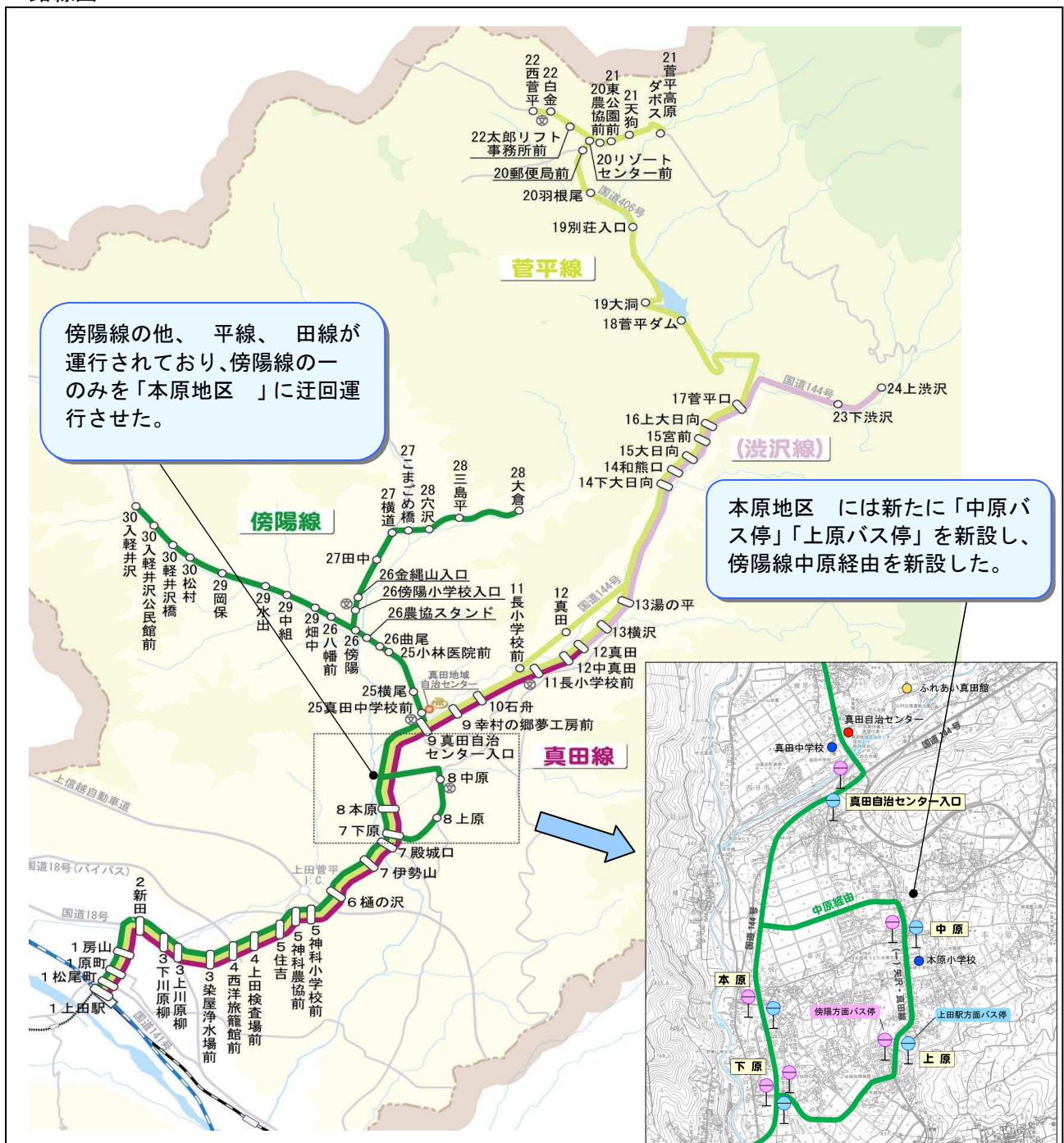
回数券をより周 してもらふための周 を行う。今年度1月、2月、3月に利用者 に ラシ 行う

## 2-4. 傍陽線本原地区迂回実証運行事業

### 2-4-1. 事業概要

事業名	傍陽線本原地区迂回実証運行		実証運行開始日	H22年10月1日	
運行形態	定時定路線	運行本数	33便（迂回21便）	運休日	休日、年末年始
概要					
傍陽線は上田駅と 田地区の大、入 地区を結ぶ路線バスである。当路線は 田自 センター入口～上田駅間を 平線、 田線と 運行し、1時間当たり1～3本の運行が確保されている。					
そのような中、上記の 区間にはバス利用が不便な「本原地区」があり、当 地区のバス利用の利便性向上を目的に、傍陽線の一 を迂回運行することとした。なお、迂回運行するに当たっては、通 となるバス停の利用実態を調査し、利用者の利便性が低 しないよう、最大限 慮したものとした。					

### 《路線図》



2-4-2. 実証運行の評価

《実証運行前との利用者数比較》

- 実証運行開始後3月間（平成22年10月～12月）の利用者数は約10,400人であり変更前である前年同時期より約1,000人増加している。

《新設バス停の利用状況》

- 新設した「上原バス停」は日平均7.9人、「中原バス停」は日平均11.1人の利用があり、実際に利用されている状況は確認された。

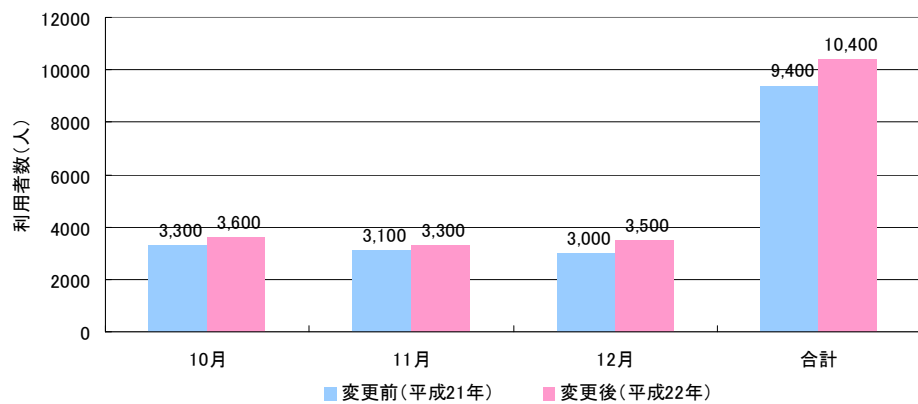
《満足度》

- 「満足・どちらかという満足」が約30%、「不満足・どちらかという不満足」が約10%と満足との回答率が不満足との回答率を約20ポイント上回っている。
- 実証運行により不便になったこととしては半数以上は「に不便を感じない」と回答。
- 次いで「時刻の変更」が高い回答率を示しており、更なる調査分が必要である。

利用者数	実証運行前（平成21年）	実証運行後（平成23年）	増減
10月～12月	約9,400人	約10,400人	+1,000人
新設バス停	上原バス停		中原バス停
	7.9人		11.1人
満足度	①満足・どちらかという満足	②不満足・どちらかという不満足	差（①－②）
	30%	20%	10ポイント

《利用者数の比較》

これらの月も、今年度の月利用者数は前年度を上回っている。



※ 当 一タの利用者数は運賃 入を利用者1人当たり単価で した値

《バス停利用者数》



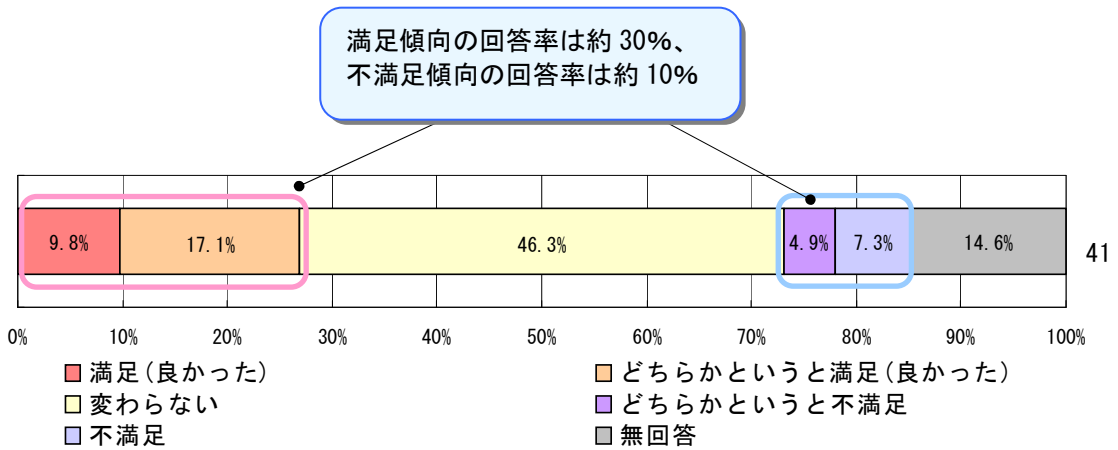
「上原バス停」・・・7.9人  
「中原バス停」・・・11.1人の日平均利用者数である。

※ 平成22年10月7日～25日の調査 一タ

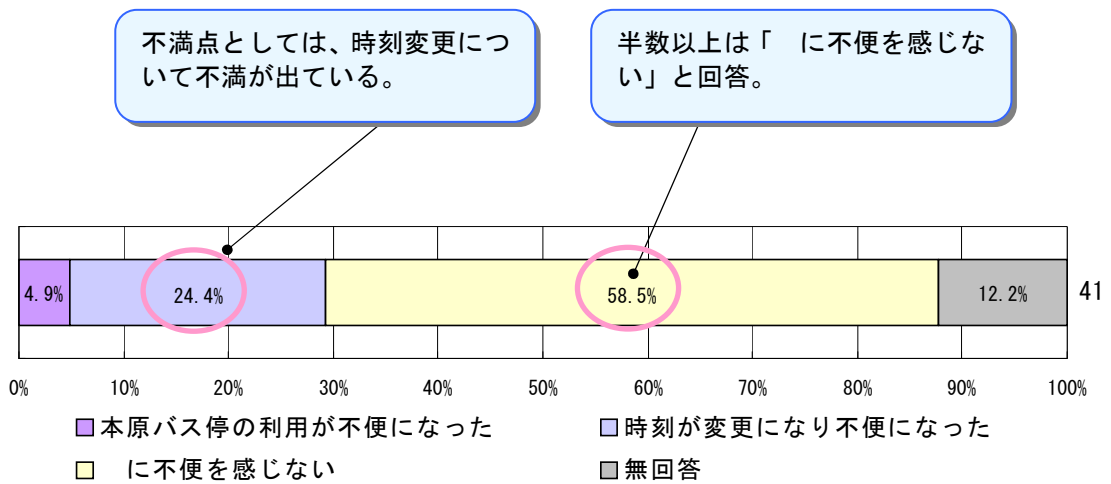
《利用者ヒアリング結果》

(1) 利用者の満足度

◆本原地区迂回運行が良かったかどうか



◆本原地区迂回により不便になった点



※ 平成22年度利用者ヒアリング調査結果

《評価のまとめ》



実証運行開始後4月ということで、現行の運行を継続する。

来年度以降も引き続き、利用状況、利用者の意向を調査し、問題点の検証等を行う。



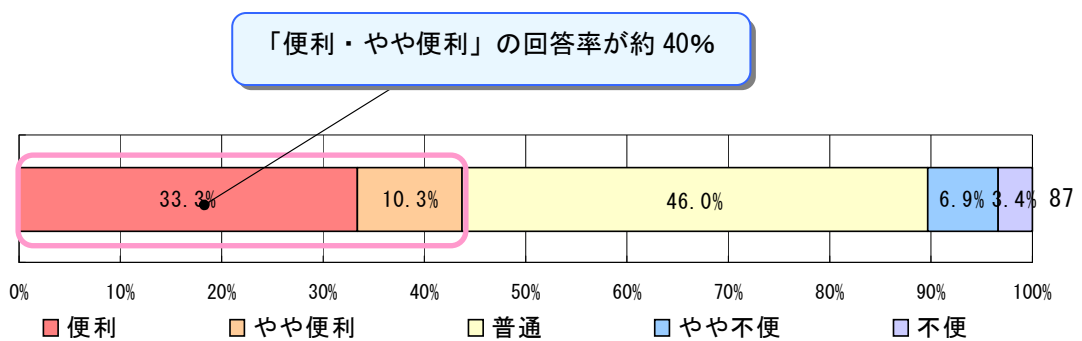
## 2-5. 乗り継ぎ情報提供表示板の作成事業

### 2-5-1. 事業概要

事業名	乗り継ぎ情報提供表示板の作成	設置年月日	平成 21 年 3 月 30 日設置
設置 所	上田駅お 口バス乗り 大 駅ロータリー		
<p>概要</p> <p>上田市の公共交通の結 点としては、J 長野新 線、しなの鉄道、上田電鉄別所線、バス、タクシーが接続する上田駅、そして、しなの鉄道、バス、タクシーが接続する大 駅が られる。これら、駅の利用者が上田市 の公共交通情報を一目で把握できる「情報提供表示板」の設置を行った。</p> <p>上田駅には 間にも対応できる の表示板で、市 の鉄道及びバスの路線図と時刻表を 示している。大 駅の表示板は、 明は無く、鉄道及び丸子地域のバス路線図と時刻表に限って 示している。</p> <p>なお、これらの情報提供表示板についてはダイヤ改 時に 時更新を行っている。</p> <p> <span style="margin-right: 100px;">《上田駅の情報提供表示板》</span> <span>《大 駅の情報提供表示板》</span> </p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			

### 2-5-2. 事後評価

- 乗り継ぎ情報提供表示板に対しては約 40%の人が「便利・やや便利」と答えており、概ね 意的に受け止められていると評価できる。
- 駅を降り ち、 ち止まって表示板を見ている人もおり、役 は果たしているといえる。





※ 平成 21 年度利用者ヒアリング調査結果

《評価のまとめ》  
 情報が くなならないよう、ダイヤ改 時の情報更新を確実に継続する。

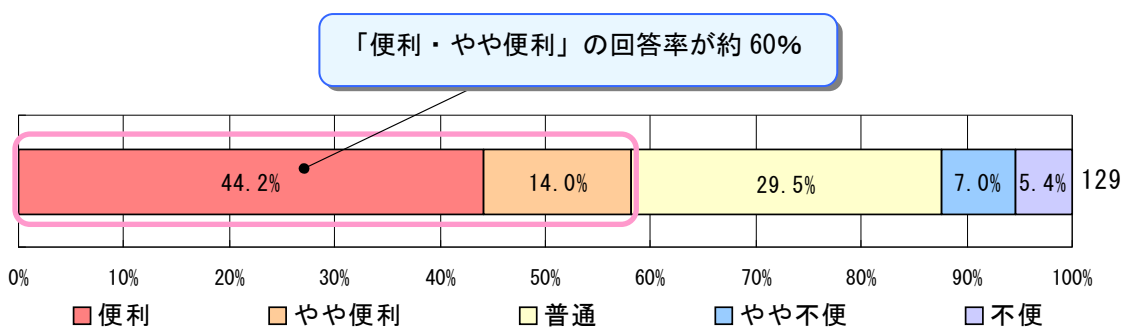
## 2-6. バスマップの作成事業

### 2-6-1. 事業概要

事業名	バスマップの作成	年月日	平成 21 年 4 月中
対	上田市		
<p><b>概要</b></p> <p>上田市では循環バス、オレンジバス、路線バスの運行形態 との時刻表または路線図しかなく、上田市 体のバス路線 がどのようになっているか把握するための情報提供がされていなかった。さらに路線バスについては 数の交通事業者が運行しており、各事業者の出す時刻表等に ら るを なかった。</p> <p>そこで、市 の 域的な移動時の情報提供及び公共交通に を高めてもらうために、市 体のバス路線 と時刻が把握できる 物（以降「バスマップ」）を作成し、 することとした。</p> <p>バスマップは できる「ポケット （ ラ ）」と の などに り付け可能な「2 」の2 を作成した。ポケット は表 を い、一面に路線図、もう一面は時刻表とした。2 は り付けを定しているため、 面のみの 用で路線図と時刻表の2 ー とした。</p> <p>なお、これらのバスマップについてはダイヤ改 時に 時更新を行っている。</p> <p style="text-align: center;"> <span>《ポケット バスマップ》</span> <span style="margin-left: 200px;">《 2 バスマップ》</span> </p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			

### 2-6-2. 事後評価

- ポケット時刻表 に対しては約 60%の人が「便利・やや便利」と回答。
- 利用者の中には持 している人もおり、「実施して欲しい事業の一つ」であったと える。





※ 平成 21 年度利用者ヒアリング調査結果

#### 《評価のまとめ》

市 に対する公共交通の周 策として行われ、利用者ヒアリング結果からは一定の効果を ることが出来た。

## 2-7. 上田電鉄別所線車両のラッピング事業

### 2-7-1. 事業概要

事業名	上田電鉄別所線車両のラッピング事業	運行開始年月日	1 平成 20 年 10 月 4 日 2 平成 20 年 12 月 25 日
<p>概要</p> <p>上田電鉄別所線は平成 17 年度時点で年間 人 が減少傾向であり、路線の再生が となった。そこで、平成 16 年度に「上田電鉄別所線再生計画（以降「別所線再生計画」）」を策定し、鉄道 能向上やフト施策など利用 に向けた り めを行ってきた。</p> <p>上田市で平成 19 年度に策定された「上田市地域公共交通活性化総合 計画」においても、別所線再生計画を位置づけ、利用 に向けた り めを実施することとした。利用 においては、利用者や沿線 の気持ちに「な となく乗ってみたい」「乗るのが しい」との感情を 生えさせることも大切なことである。そこで、平成 20 年 10 月に新たに 入された新型車両 2 成に、原田 ザインのラッピングを施し、「自 と だち 1 」「自 と だち 2 」として運行を開始した。</p> <p style="text-align: center;"> <span style="margin-right: 100px;">《自 と だち 1 》</span> <span>《自 と だち 2 》</span> </p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			

### 2-7-2. 事後評価

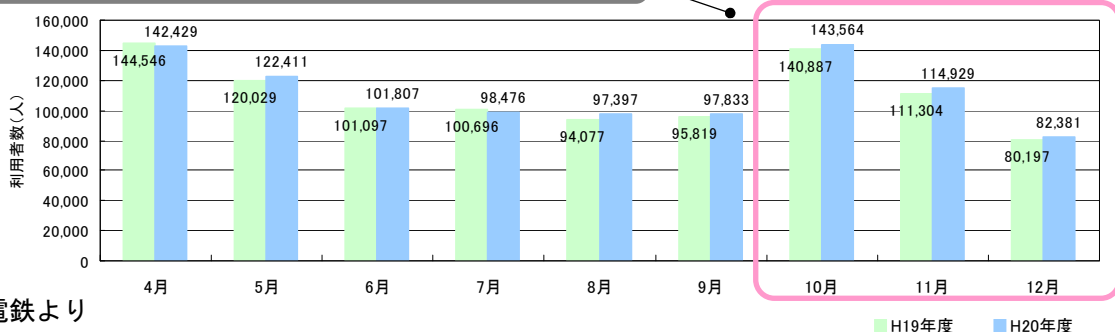
- ラッピング車両が運行を開始した 20 年 10 月～12 月の 3 月利用者数は約 340,000 人（前年同時期約 330,000 人）で前年同時期と比較し 10,000 人増加しており、ラッピング車両 入の効果を利用者数増加の一因となったと考えられる。
- 平成 21 年度年間利用者数は、経 情 化や新型インフルエンザ等に され減少したが、減少傾向には 止めが かっている。
- 「ラッピング電車によって別所線のイ ージが良くなった」が約 60%の回答率であり、「乗りたい」との回答も約 60%であったことから、別所線のイ ージ向上に がった。

#### ◆ 月別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	月平均利用者数
H19年度	144,546	120,029	101,097	100,696	94,077	95,819	140,887	111,304	80,197	988,652	109,850
H20年度	142,429	122,411	101,807	98,476	97,397	97,833	143,564	114,929	82,381	1,001,227	111,247

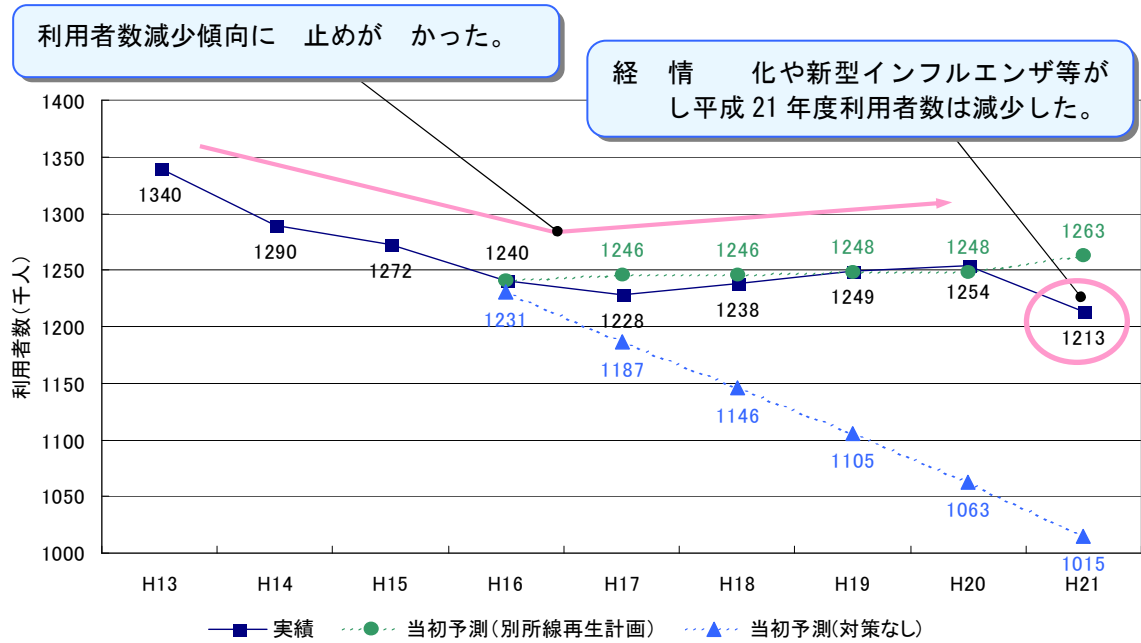
※ラッピング電車は平成20年度10月4日より運行開始  
※赤塗りの数値はラッピング車両が運行中の月利用者

車両ラッピング後の 3 月利用者は前年を に上回った。



※ 上田電鉄より

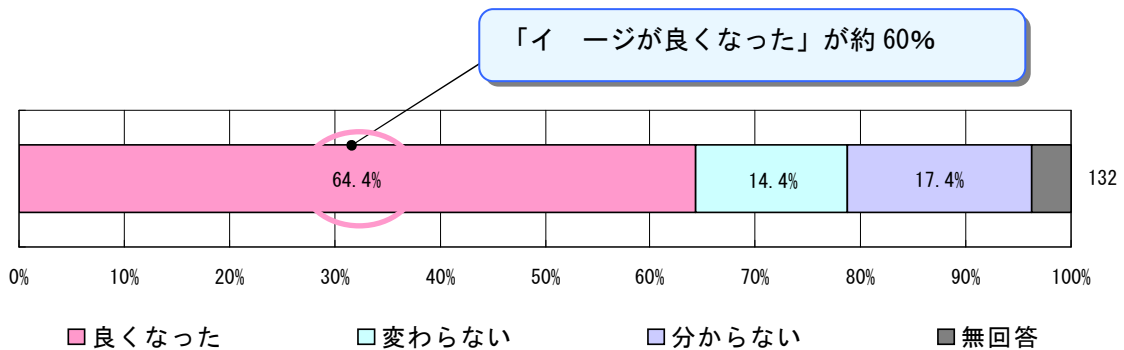
◆年間利用者数



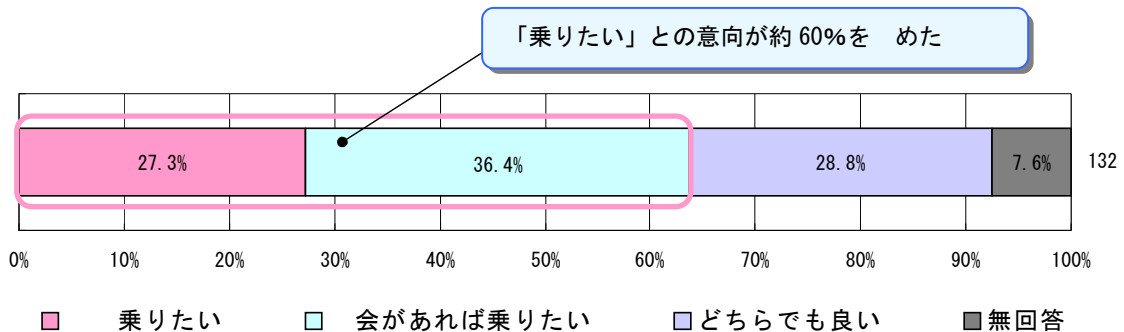
※ 上田市アイプロジェクトH より

《利用者ヒアリング調査結果》

◆ラッピング電車によって別所線のイメージが変わったか



◆ラッピング電車にまた乗りたいか 乗ってみたいか



※ 平成 20 年度ラッピング電車利用者ヒアリング調査結果




《評価のまとめ》

別所線イメージ向上や利用 において、一定の効果は発現したと評価できる。



## 2-8. タクシー事業の活性化及びタクシーを活用した観光に資する事業

### 2-8-1. 事業概要

事業名	タクシー事業の活性化及びタクシーを活用した観光に資する事業	事業開始時期	H22年4月1日事業発足
対 地区	上田市 地域（上田地域）		
<p>概要</p> <p>上田市 のタクシー事業は「 定地域におけるタクシー事業（一 乗用 自動車運 事業）の適化及び活性化に する 別 置 」の施行により今後タクシー事業の適 化・活性化の推 に り む こととなった。この においては、タクシー事業も鉄道やバスとともに地域公共交通の一 を う 要な公共交通 の一つとして位置づけられたことから、タクシー事業の当 事業について「総合計画」及び、「地域公共交通活性化・再生総合事業計画事業」に位置づけ事業を推 することとなった。事業 としては「タクシー観光のための乗 等接 レ ルの向上」「交通結 点である」上田駅タクシー乗り へのタクシーアテンダントの 置」「タクシー観光のための 田 ・ 田 の 」 「タクシーによる地域 活動」の4つを推 した。</p> <p>《接 ・ 観光レ ルアップ 会》 《上田駅でのタクシーアテンダント》 《観光 事業》</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>			

### 2-8-2. 事後評価

- 今年度は年間タクシー観光利用者数が288（平成22年12月時点）であり、目標値300には12及ばなかったが、現状推移を維持できれば、目標を成する見みである。また、前年度との比較を行うと、今年度は46増加させることが出来た。
- 今年度情数は6と、年度と比較し3減少させることが出来た（平成22年12月時点）。
- 今年度は約80%の利用者満足度をており、年度から20ポイント向上させることが出来た。

	21年度	22年度 1		目標値	
			前年度差		22年度差
年間タクシー観光利用者数 2	242	288	46 増加	300	12 不足
情 数	9	6	3 減少	—	—
利用者の満足度 3	約 60%	約 80%	20 ポイント上	—	—

1 22年度は平成22年4月～12月の期間

2 観光 イ タクシーを めた時間 切の運行回数（定期的のあるものは く）

3 J 上田駅におけるタクシーアテンダントまたは乗 によるヒアリング調査結果

※ 長野 タクシー協会より

#### 《評価のまとめ》

事業により一定の効果は発現したと考えられる。来年度以降、「タクシーアテンダント事業」では、観光 ・ 学 等を保持したアテンダント 続的確保を検討中である。

### 3. その他事業

#### 3-1. オレンジバス見直し事業

オレンジバスは「上田市地域公共交通活性化・再生総合事業計画」において位置づけはされていないが、市内の公共交通の一翼を担う重要な公共交通機関として、当報告書の中で取り上げることとする。

##### 3-1-1. 事業概要

事業名	オレンジバス見直し事業		見直し予定年月日	H23年4月中	
運行形態	定時定路線	運行本数	6コース 各コース 1日2便を 2日運行	運休日	休日、年末年始
<p>概要</p> <p>オレンジバスは高齢者が買い物や通院、高齢者福祉センターへの通所を目的に運行されている定時定路線の福祉型バスである。60以上の高齢者・者・（6以）は無、その他の利用者は1回100円で利用できる。</p> <p>オレンジバス運行ルート沿線にはJT跡地再開発をえており、平成23年4月には大型商業施設が開店することとなっている。また、開店に上田駅お口の店舗は店がまっており、オレンジバスを利用しての買い物への慮も必要になることから、運行ルートの見直しを図るものとする。</p>					

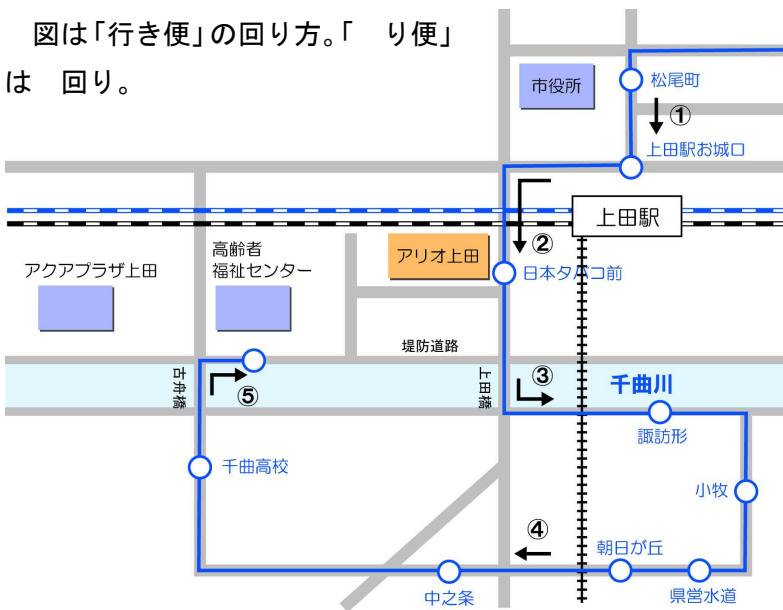
#### 《路線図》



《各コースの回り方》

◆ 〃 コース

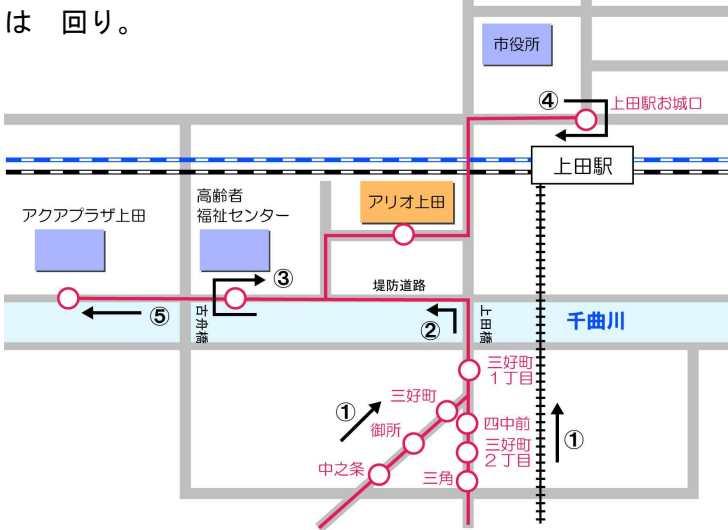
図は「行き便」の回り方。「り便」は 回り。



行き	帰り	主なのりば
始発	終点	下塩尻
		長野病院前
		染谷丘高校前
		海野町
		松尾町
		上田駅お城口
		日本タバコ前
		諏訪形
		小牧
		県営水道
		朝日が丘
		中之条
		千曲高校
終点	始発	高齢者福祉センター

◆ 西田コース、東田コース、〃 コース

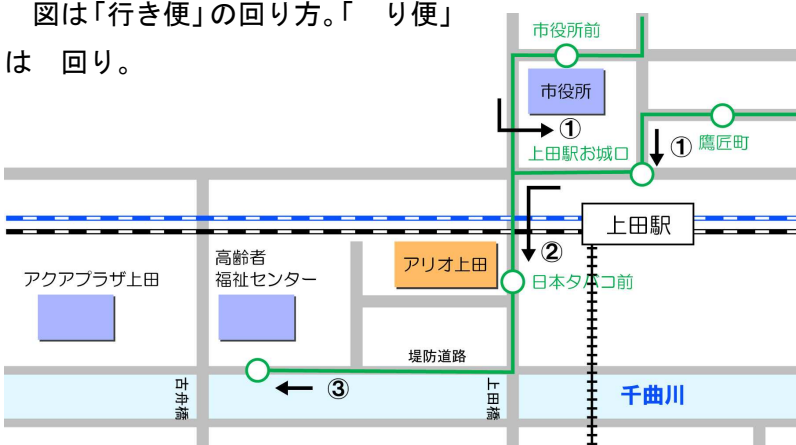
図は「行き便」の回り方。「り便」は 回り。



行き	帰り	西塩田コース	東塩田コース	浦里・室賀コース
		主なのりば	主なのりば	主なのりば
始発	終点	田中	大学前駅	入組
		塩田地域自治センター	東塩田小学校	原組
		塩田町駅	柳沢	田中組
		川西医院	塩田地域自治センター	川西地域自治センター
		上田原駅前	創造館前	古吉町
		三角	三角	中之条
		三好町2丁目	三好町2丁目	御所
		四中前	四中前	三好町
		三好町1丁目		
		高齢者福祉センター		
		(仮)アリオ上田前		
		上田駅お城口		
		(仮)アリオ上田前		
		高齢者福祉センター		
終点	始発	アクアプラザ上田		

◆ 〃 コース、 殿・ 〃 コース

図は「行き便」の回り方。「り便」は 回り。



行き	帰り	神川・神科コース	豊殿・神科コース
		主なのりば	主なのりば
始発	終点	常入	上川原柳
		大屋駅	赤坂口
		信濃国分寺駅前	原町
		鷹匠町	市役所前
		上田駅お城口	
		日本タバコ前	
終点	始発	高齢者福祉センター	



#### 4. 今後の事業予定

「上田市地域公共交通活性化・再生総合事業計画」は平成20年度～22年度の3年間の事業である。よって、今年度で当事業は完了となる。しかし、バスの運行事業やタクシー事業の当該事業は来年度以降も引き続き実施予定であり、それらの実施予定を以下に示す。

##### 《平成23年度以降の事業実施予定》

事業名	平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度以降		
上田市街地循環バス 実証運行事業	★見直しによる本格運行開始 (H22年4月中旬以降予定)			利用実態を把握しながら、必要に応じ 見直しを実施する。								
丸子地域循環バス実 証運行事業				利用実態を把握しながら、必要に応じ 見直しを実施する。								
循環バス共通回数券 の発行				利用者の要望等に配慮し、改善をしな がら販売を継続する。								
傍陽線本原地区迂回 実証運行				実証運行期間が未だ4ヶ月と短期間であるため、今後の利用状況を 把握しながら、必要に応じ見直しを実施する。								
タクシー事業の活性化 及び観光振興に資する 事業				利用実態を把握しながら、必要に応じ 見直しを実施する。								
乗り継ぎ情報提供表 示板及びバスマップ作 成				鉄道会社、バス会社等各事業者のダイヤ改正に併せて、 情報更新を行う。								
別所線車両ラッピング	平成20年度の事業を持って、事業完了とする。											

#### 5. 「地域公共交通確保維持改善事業～生活交通サバイバル戦略～」の有効活用

国では交通基本法関連施策として、平成23年度に「地域公共交通確保維持改善事業～生活交通サバイバル戦略～」として305億円の予算計上を予定している。

現時点では制度の詳細は示されていないが、制度を最大限活用して、公共交通の確保維持及び活性化を図っていきたい。